

Ⅲ 社 会 教 育

社会教育

1 はじめに

近年、少子高齢化や核家族化等の影響により地域社会の結びつきが弱まり、地域や家庭の教育力の低下が指摘されている。こうした中、すべての子どもたちの未来への可能性を引き出すためには、地域全体で子どもたちを育てていく取組が求められている。

本区では、青少年の健全な成長を促すとともに、次世代を担う人材を育成するという観点から、社会教育事業の一環として、自然体験事業、子ども会や地域で活動するリーダーの育成、冒険遊び場の提供、育成団体の活動支援等の推進、放課後の子どもの居場所づくり等の事業を実施している。また、区民の郷土に対する理解や愛情を深めてもらうため、文化財保護法の目的である「文化財を保存し、且つ、その活用を図り、もって国民の文化的向上に資するとともに、世界文化の進歩に貢献すること」に基づき、区内に現存する文化財の保存及び活用を図っている。

2 青少年教育事業

青少年の健全な育成のためには、学校教育だけでなく、家庭や地域社会の果たすべき役割が大きいことから、地域における青少年団体活動や家庭教育への支援を行うとともに、様々な体験・交流活動等を実施している。

少年教育としては、小学校高学年から中・高校生の少年リーダー養成事業をはじめ、育成者を対象とした子ども会活性化事業や、少年団体への支援などを行っている。

また、子どもの居場所づくりとして、地域や保護者の協力を得て区立小学校の施設等を利用した「放課後子ども教室」事業を実施するほか、子どもが自然に親しみ、冒険が楽しめる場として、押上一丁目に「わんぱく天国」を開設（S62.4～）し、各種イベントを実施している。

そのほか、小学生の農山村生活体験事業である山形県高畠町との交流事業、知的障害者のための青年学級として「すみだ教室」、家庭や地域の教育力向上に向けた講演会や講座などを実施し、青少年の健全育成活動を区民との協働により進めている。

団体支援

ア 少年団体育成・支援

区内の少年団体の活動の振興のため、少年や成人のリーダーを養成したり、区内少年団体の自主的な活動に対して、必要と求めに応じた専門的・技術的な助言や指導を行うなど、各少年団体の育成及び活動の活性化を図る。

(ア) リーダー養成

a サブ・リーダー講習会

目的

子ども会や小学校などにおける各種グループ活動で中心的な役割を担えるよう、ゲームやレクリエーションを通してグループ活動を体験させ、自主性・協調性、責任感等を養うとともに、グループ活動におけるイン・リーダーを育成する。

対象

区内の小学校4～6年生

内容

受講生が子ども会及び学校等において、イン・リーダーの役割が達成できるようなプログラム内容とし、区内日帰り講習及び区外青少年施設での宿泊講習を夏期・冬期の年2回開催（令和4年度は区内日帰り講習のみ実施）

その他

この講習会は、墨田区青少年委員協議会と区教育委員会との共催で実施している。

b ジュニア・リーダー研修会

(令和4年度実績)

日 程	会 場	内 容
4月17日(日) 5月15日(日) 6月19日(日) 7月10日(日) 9月25日(日) 10月23日(日) 11月13日(日) 12月11日(日) 1月29日(日) 2月26日(日)	区立小学校ほか	月例研修(日帰り研修)
7月24日(日)~27日(水)	千葉市少年自然の家	キャンプ研修
3月25日(土)~3月26日(日)	墨田区総合運動場セミナーハウス	宿泊研修

目 的

青少年の健全育成及び子ども会の活性化を図るため、研修を通じて、協調性・積極性・責任感を学び、良きお兄さんお姉さんとして活躍ができるリーダーを養成する。

対 象

区内在住・在学の中学生・高校生(令和4年度実績 71名)

進級制度

ジュニア・リーダー初級認定後、中級・上級・リーダー級へと進級する。

各級の進級については、墨田区少年団体連合会と区教育委員会等で構成する認定委員会において、研修会への出席回数や、筆記試験の成績等を基に審査を行っている。

その他

この研修会は、墨田区少年団体連合会と区教育委員会との共催で実施している。

(イ) 墨田区少年団体連合会(墨少連)事業支援

墨田区少年団体連合会(墨少連)は「区内の少年団体の連絡を密にし、各団体の向上発展と親睦と友好を図る」ことを目的に、昭和40年に結成された。令和5年3月31日現在、66団体の子ども会・少年団体が加入している。

区内青少年の健全育成を図るため、墨少連が実施主体となって実施しているジュニア・リーダー研修会に対して支援を行っている。

(ウ) 子ども会活性化事業

区内における子ども会活動の活性化を促進する事業を支援し、区内青少年の健全育成を図る。

(令和4年度実績)

a 補助金交付団体

墨田区子ども会活性化事業実行委員会

b 実施事業

内 容	会 場	実施時期	参加者
すみだレクリエーション大会	墨田区総合体育館	11月3日(木・祝)	195人
育成者研修会	同上	同上	80人
バドミントン大会	同上	2月19日(日)	120人

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「少年キャンプ」は中止した。

イ P T A活動

各区立小・中学校で、父母と教師の会(P T A)が結成されている。社会教育関係団体・成人教育団体としてのP T A活動を円滑に進め、その充実を図るために、研修大会の開催等を支援している。

なお、小学校のP T Aは長年、本所地区と向島地区で別の連合組織がつくられていたが、平成21年6月、両者が統合し、墨田区立小学校P T A協議会が誕生した。

PTAの研修活動（令和4年度実績）

事業名	実施日	対象	内容・テーマ	参加者	会場
PTA研修大会	墨田区立小学校 PTA協議会	10月14日	講演会 可能性を引き出す魔法のことば PEP TALK ～子どもたちのドリームサポーターになるために～	206名	曳舟文化センター
	墨田区立中学校 PTA連合会	11月18日 (期間限定で オンライン 配信)	講演会 「eスポーツ」を楽しく学ぼう！ ～子ども達が秘めた無限の可能性～	630名 (オンライン 含む)	曳舟文化センター

ウ おやじの会

本区では、PTAの役員・委員に男性の参加が少ないことから「おやじの会」(類似名称団体含む。)が結成され、PTAと協力して活動している。

エ 青少年委員活動

(ア) 目的及び経過

青少年委員制度は、戦後の混乱した社会情勢と青少年教育施設の乏しい中で、青少年健全育成活動のグループリーダーや青少年団体指導者に対する助言等、協力者として昭和28年に東京都で発足した。その後、昭和39年の地方自治法の一部改正に伴い、区に移管され今日に至っている。青少年委員は、青少年教育の振興を目的として、青少年健全育成の一翼を担っている。

(イ) 活動内容

- a 青少年の余暇指導に関すること。
- b 青少年団体の育成に関すること。
- c 青少年団体等指導者に対する援助に関すること。
- d 官公庁、学校及び青少年関係団体相互の連絡に関すること。
- e その他青少年教育の振興に関すること。

令和4・5年度 墨田区青少年委員名簿

任期 令和4年4月1日～令和6年3月31日
令和4年4月1日現在

	氏名	担当学区	備考
1	鳴島 央也	緑小	1期
2	遠山 弓子	外手小	2期
3	小松崎 砂由理	二葉小	3期
4	大城 卓也	錦糸小	3期
5	阿部 玲子	中和小	2期
6	齊藤 誠一郎	言問小	1期
7	加藤 才智	小梅小	2期
8	鐘ヶ江 仁始	柳島小	3期
9	市村 篤士	業平小	1期
10	竹岡 洋一	両国小	5期
11	鹿糠 秀俊	横川小	2期
12	海野 由香	菊川小	3期
13	渡邊 行洋	第三吾嬬小	2期
14	山本 直美	第四吾嬬小	1期
15	清水 宏	第一寺島小	3期

	氏名	担当学区	備考
16	小橋隆介	第二寺島小	2期
17	佐々木直	第三寺島小	4期
18	山形則子	曳舟小	1期
19	尾口優子	中川小	2期
20	林紀美子	東吾嬬小	2期
21	鈴木優子	押上小	2期
22	小野俊一	八広小	9期
23	増田浩次	隅田小	1期
24	松村明子	立花吾嬬の森小	1期
25	齊藤祐子	梅若小	3期
26	坂井博	少年団体	4期

(ウ) 定員及び選出方法

定員は、墨田区青少年委員に関する規則第4条の規定により35人であるが、現在は、小学校区域選出については当該小学校長、少年団体代表については墨田区少年団体連合会からの推薦を受けて委嘱していることから、26人となっている。

場の確保

ア 放課後子ども教室

区立小学校の施設等を利用して、放課後の子どもたちの安心・安全な居場所づくりや、学習、文化芸術活動、交流活動等といった様々な体験活動を推進するため、保護者及び地域住民等の見守りボランティアが子どもたちの自由な遊び等を見守り、地域全体で子どもたちを見守る体制の構築を目指している。

文化・教養、スポーツ等スクールタイプの事業として、平成19年9月から緑小学校、平成20年9月から第三吾嬬小学校、平成27年7月から立花吾嬬の森小学校、令和4年4月からは、中和小学校の4校で「いきいきスクール」を実施している。

平成23年度からは、日曜日に実施している「校庭開放」を平日に拡大し「放課後子ども教室」として実施したり、学習支援のみの「放課後子ども教室」を実施したりするなど、それぞれ地域の特色を活かした形で、全小学校での実施を目指しており、今後も学校や地域と調整のうえ、準備の出来た小学校から順次開設する。

なお、実施に当たっては、学校、保護者、地域住民等から構成された運営委員会へ委託している。

(令和5年8月現在の実施校)

いきいきスクール4校のほか、外手小、二葉小、錦糸小、言問小、柳島小、業平小、両国小、菊川小、第四吾嬬小、第一寺島小、第三寺島小、曳舟小、中川小、押上小、八広小、梅若小、隅田小(17校)

イ わんぱく天国

(ア) 目的

子どもたちが自然を学びながら、いきいきと冒険遊びや創造的な遊びを楽しむ場である。この遊び場は、近隣の子ども会(小学校4・5年生)から意見を聞く「子どもわんぱく会議」で子どもたちのアイデアや要望を取り入れて創設されたものである。

園内は、わんぱく砦、わんぱく広場、やすらぎ広場の3ゾーンに分かれている。ジャンボゲート、ターザンロープ、木工室などがあるほか、プレーリーダーが常駐し、子どもの遊びの手伝いをしている。

(イ) 概要

敷地面積 3,226.07 m² (わんぱく広場、やすらぎ広場、わんぱく砦)

わんぱく砦 鉄骨2階建(押上集会所併設) 延床面積 244.70 m²

- (ウ) 所在地
押上一丁目 47 番 8 号
- (I) 開園時間
4 月～9 月 午前 9 時～午後 6 時
10 月～3 月 午前 9 時～午後 5 時
- (オ) 休園日
12 月 31 日～1 月 4 日（やすらぎ広場は、除く。）
- (カ) 利用実績（令和 4 年度実績）
58,157 人

ウ 校庭開放

- (ア) 目的
区立小学校の校庭、施設（一部）を地域社会の幼児、学童の健全な遊び場・活動の場として開放し、青少年の健全な育成を図る。
- (イ) 経過
東京都では昭和 29 年から子どもの遊び場として校庭開放を行ってきた。墨田区では当初 2 校（横川小・一寺小）で開放し、その後、全区立小学校に枠を広げて実施していた。平成 23 年度からは、平日の開放へと拡大し、「放課後子ども教室」事業へ移行している。令和 5 年 8 月現在では、放課後子ども教室へ移行していない小学校など 7 校で実施している。
- (ウ) 対象
当該校の在校生及び付添人のある幼児（令和 4 年度利用者実績 3,716 人）
令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により 6 校のみで実施。
- (I) 開放日時等
幼児、学童に対する校庭開放は、原則として次のとおりとする。
日曜日 午前 9 時～午後 5 時（10 月～3 月 午前 10 時～午後 4 時）
- (オ) その他
校庭開放の円滑な運営を図るため、開放指定校ごとに校庭開放運営協議会を設置している。

体験活動

ア 他自治体との交流

- (ア) 山形県高畠町との交流～夏休み自然体験教室（小学生の農山村生活体験）
 - a 目的
本区の子どもたちが、農山村にホームステイして、そこに住む子どもたちとの共同宿泊体験を通じて相互の交流を深め、自然や人とのふれあいを通して得たことを人間形成に活かす。
 - b 場所
山形県東置賜郡高畠町
 - c 期間
夏休み期間中の 3 泊 4 日（令和 2～4 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）
 - d 体験学習の内容
集団宿泊体験 1 泊、ホームステイ 2 泊による各家庭での生活体験、農作業の手伝い、家族との交流、地域での遊びを体験する。また、高畠町の史跡見学、高畠町の小学校児童や住民との交流会、自然体験等を学習する。
 - e 対象
区内在住・在学の小学校 5・6 年生 20 人程度
- (イ) 墨田ツアー
 - a 目的
本区と高畠町の交流を深めるため、高畠町の子ども、協力家庭が本区を訪れ、参加者家族を交えて交流する。

- b 期間
12月上旬の土日1泊2日(令和2～4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)
- c ツアー内容
区内施設の見学
夏休み自然体験教室の参加児童とその保護者との交流
- d 対象
高島町の子どもと協力家庭の方々など

イ ネイチャーワールド・キッズアドベンチャー(異学年交流事業)
第三次生涯学習推進計画(墨田区まなびプラン)に基づき、平成24年度から実施していたが、令和2年度及び令和3年度は、オリンピック・パラリンピックの影響で本事業を休止し、令和4年度以降は事業見直しにより廃止した。

家庭教育支援

ア 家庭教育学級(旧両親大学)
家庭における子どもの教育を支援するため、昭和57年から父親の参加も求め、区立幼稚園父母の会、小・中学校PTAなどが実施主体である家庭教育に関する多種多様なテーマの講座・講演会の実施に対して、補助を行っている。
令和4年度実績 実施団体：9団体、参加者数：延べ566人(うち男性61人)

イ 地域育成者講習会
青少年育成委員や青少年委員、PTAなど地域の指導者を中心に、地域における指導力・相談力の向上のため、新しい家庭のあり方等をテーマに講演会を開催している。

開催日	テーマ	講師名	参加人数	会場
3月8日(水)	コロナ禍の子どもとのかかわり方～アフターコロナを見据えて～	藤井 秀一 近未来教育変革研究所所長	42人	すみだリバーサイドホール

ウ 家庭教育パンフレット(おやこいっしょに)の配布
墨田区青少年問題協議会(「3 青少年対策」参照)の事業として、家庭教育パンフレット「おやこいっしょに」を作成し、新学期開始時に区立小学校1年生・4年生、区立中学校1年生の保護者あてに配布している。

エ 「子育て通信」の配布
平成23年度からは、季刊でちらし(「子育て通信」)を作成し、コラムや子育て情報を掲載し、区立幼稚園・小学校を通じて、園児や低学年児童の保護者へ配布している。

(令和4年度実績)

(ア) テーマと執筆者

春季号「新入学生、新入園生の保護者の皆さまへ」

早川 和子(臨床心理士、区内小学校スクールカウンセラー)

夏季号「夏休みと生活リズム」

鈴木 みゆき(國學院大學人間開発学部子ども支援学科 教授)

秋季号「読書の秋に、最近気になること2点。」

児玉 ひろ美(JPIC 読書アドバイザー)

冬季号「生活リズムの工夫2点」

鈴木みお(子どもの早起きをすすめる会 早起きコーディネイター)

(イ) 発行部数 1回6,000部×4回=24,000部

オ 家庭教育支援講座

私立・区立幼稚園、私立・区立保育園、区立小学校・PTAと連携し、園・小学校の保護者、地域の一般区民を対象に、子どもの生活習慣の改善や家庭における学習習慣づけ等を目的として、各種の「家庭教育支援講座」を開催している（令和2～4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、親子教室のみ実施）。

（令和4年度実績）

	開催日	テーマ	講師名	参加人数	会場
1	3月19日(日) 午前	親子で楽しむSTEAM教室 オンライン	特定非営利活動法人東京学芸大 こども未来研究所派遣講師	32人	オンライン（Zoom）
2	3月19日(日) 午後	親子で楽しむSTEAM教室 オンライン	特定非営利活動法人東京学芸大 こども未来研究所派遣講師	26人	オンライン（Zoom）
		合計		58人	

学校教育支援

平成21年度から、教育委員会事務局内に「学校支援ネットワーク本部」を設置し、学校の学習ニーズに基づき、企業や団体、地域から講師を派遣し出前授業を行い、子どもたちに多様な体験・価値ある体験の場を提供している。

（令和4年度実績）

実施件数	授業回数	協力団体	派遣講師数	参加児童・生徒数
209件	383回	309団体	850名	16,595名

青年教育（すみだ教室）

ア 目的

義務教育等を修了した知的障害者が、社会生活のルールやエチケット等社会人として必要なことを学習する。また、職場や家庭での悩みを相談し合うとともに、スポーツやレクリエーションを通じ、余暇の活用と仲間との触れ合いにより、心と体の健康づくりを目的としている。

イ 対象

中学校特別支援学級及び特別支援学校の卒業生等で、原則として次の条件を満たす者

- (ア) 区内在住・在勤
- (イ) 医療管理又は介護を必要としない
- (ウ) 団体行動ができる
- (エ) 会場までひとりで往復できる
- (オ) 全日程になるべく出席できる
- (カ) 愛の手帳3度～4度程度
- (キ) 65歳以下

ウ 会場

本所中学校

エ 受講者数（令和4年度実績）

65人[青年部（35歳未満）14人、成人部（35歳以上）20人、壮年部（45歳以上）31人]

オ 期間（令和4年度実績）

令和4年5月15日(日)～令和5年2月5日(日)

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、事業の一部を内容変更(半日開催等)・中止(宿泊研修、もちつき大会)して実施した。

午前9時30分～午後3時00分(原則として、毎月第1・3日曜日、年19回開設)

カ 講 師

特別支援学級・特別支援学校の教諭等

キ 内 容

各部ともにグループに分かれ、お互いに協力し合いながら楽しく学習を行う。

グループ活動	クラブ活動	レクリエーション	そ の 他
<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い ・スポーツ ・音楽 ・調理実習 ・社会見学 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ ・パソコン ・手芸 ・お花 ・クッキング ・音楽 	<ul style="list-style-type: none"> ・フォークダンス ・スポーツ ・ゲーム ・クイズ 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊研修 ・四区青年学級連合レクリエーション大会 (中央区) ・もちつき大会 ・新年会 ・新聞「巢美多」「教室だより」の発行

3 青少年対策

青少年をとりまく環境や文化は、青少年の心理や行動にかかわる様々な社会問題を生んでおり、それらの問題に対応し、青少年の健全育成と非行防止を図るためには、家庭、地域社会、学校そして行政が一体となって協力し、地道に取り組むことが大切である。

そこで、青少年対策の活動を効果的に推進するため、諸施策や活動の総合調整を図る機関として「墨田区青少年問題協議会」が設置され、区及び青少年関係機関・団体の活動指針として「墨田区青少年対策基本方針」を定めている。また、地域の自主的な組織として、区立中学校の通学区域を単位に「地区青少年育成委員会」が設置され、地域活動推進の母体となり、様々な青少年育成事業を実施している。

なお、本区では青少年育成委員会、警察署等と合同で、地域の有害環境の点検や自粛要請活動、各地区での非行防止活動などを行うとともに、11月には「墨田区青少年健全育成区民大会」を実施し、区民の青少年健全育成に対する意識の高揚を図っている。また、毎日夕方には「帰宅呼びかけ放送」も行っている。

墨田区青少年問題協議会

戦後の社会の混乱とそれに伴う青少年非行の急増を背景に、昭和24年、国に「青少年問題対策協議会」、都に「東京都青少年問題協議会」が設置され、昭和28年には「青少年問題協議会設置法」の制定により、社会生活の中で青少年の健全育成を図るといった願いが、具体的な展開を生むことになった。

こうした国や都の動向や、本区が、地方出身の勤労青少年が多い中小企業の町であるために、総合的な青少年施策が必要であったことから、昭和30年3月に区長の附属機関として「墨田区青少年問題協議会」(略称「青少協」)を設置した。

青少協では、毎年度「墨田区青少年対策基本方針」を定め、区をはじめとする行政機関や各地区青少年育成委員会、青少年関係団体等に、これに沿った青少年育成活動を進めるよう求めている。

令和5年度の基本方針では、新型コロナウイルス感染症の影響による青少年の心の変化や新しい生活様式にも対応した青少年健全育成活動を展開していくこととし、次の5つの重点目標を定めている。

- 目標1 健全な明るい家庭づくりを進めよう。
- 目標2 青少年の社会参加を促進しよう。
- 目標3 社会環境の浄化推進に努めよう。
- 目標4 家庭、学校、地域、関係機関・団体の連携を強めよう。
- 目標5 青少年の非行・被害防止運動を推進しよう。

墨田区青少年問題協議会委員名簿

(令和5年7月1日現在)

会長 墨田区長	山 本 亨
区議会議員（条例第2条第4項第1号）	
区議会議員	あべ よしたけ
区議会議員	おまた 雄 一
区議会議員	船 橋 けんご
区議会議員	中 村 あきひろ
学識経験者（条例第2条第4項第2号）	
墨田区立小学校長会会長（第三吾嬬小学校長）	川中子 登志雄
墨田区立中学校長会会長（吾嬬第二中学校長）	駒 田 るみ子
高等学校長代表（都立両国高等学校長）	金 田 裕 治
墨田区私立幼稚園連合会会長（向島文化幼稚園長）	吉 川 宜 範
墨田区立小学校PTA協議会会長（外手小学校PTA会長）	小 武 三 博
墨田区立中学校PTA連合会会長（吾嬬第二中学校PTA会長）	泉 和 典
墨田区青少年委員協議会会長	小 野 俊 一
墨田区少年団体連合会会長	小 澤 裕 二
墨田区スポーツ推進委員協議会会長	島 田 泰 子
墨田区民生委員・児童委員協議会会長	鎌 形 由美子
本所防犯協会会長	廣 田 健 史
向島防犯協会会長	岩 田 庸一郎
墨田区保護司会会長	有 馬 慶 子
墨中地区青少年育成委員会委員長	西 村 紀 子
本中地区青少年育成委員会委員長	安 藤 玲 子
両中地区青少年育成委員会委員長	山 口 仁 美
竪中地区青少年育成委員会委員長	横 井 新 一
錦中地区青少年育成委員会委員長	小 林 厚 子
吾嬬二中地区青少年育成委員会委員長	坂 井 正 廣
寺中地区青少年育成委員会委員長	堀 口 義 晃
文花中地区青少年育成委員会委員長	市 川 清
桜堤中地区青少年育成委員会委員長	長谷川 豊
吾嬬立花中地区青少年育成委員会委員長	吉 澤 利 雄
関係行政機関の職員（条例第2条第4項第3号）	
警視庁本所警察署長	山 本 英 治
警視庁向島警察署長	田 平 誠
東京都江東児童相談所長	栗 原 博
墨田公共職業安定所長	佐々木 幸彦
東京家庭裁判所主任家庭裁判所調査官	岡 大 輔
東京保護観察所保護観察官	野 口 裕 司
向島労働基準監督署長	釜 賀 由 美
区の職員（条例第2条第4項第4号）	
墨田区副区長	岸 川 紀 子
墨田区教育委員会教育長	加 藤 裕 之
墨田区産業観光部長	郡 司 剛 英
墨田区福祉保健部長	関 口 芳 正
墨田区福祉保健部保健衛生担当部長	杉 下 由 行
墨田区子ども・子育て支援部長	酒 井 敏 春

青少年育成委員会

昭和 30 年 9 月、東京都が「青少年問題に関する地域組織活動の強化及び補導体制の整備強化要綱」を定め、青少年に対する補導体制の強化を促進した。

本区では、これに基づき昭和 30 年 11 月に「向島補導連絡会」、同年 12 月に「本所補導連絡会」を「墨田区青少年問題協議会」(略称「青少協」)の下部組織として設置し、補導ケースの研究、街頭補導等青少年の非行防止のため様々な活動を行ってきた。

昭和 36 年 8 月から翌年 7 月にかけて、区立中学校通学区域を単位に、青少年の育成活動の充実を期して、12 の地区委員会が青少協の下部機関として組織された。その後、昭和 52 年 4 月から各地区委員会は「地区青少年育成委員会」と名称を変更するとともに、青少協の下部機関ではなく地域の自主的な組織となり、それぞれの地域の実情に即した独自の活動を行うこととなった。地区青少年育成委員会は、青少協の施策に協力するとともに、地域の青少年問題に関する連絡調整をはじめ、7 月の「青少年非行・被害防止強調月間」、11 月の「子ども・若者育成支援推進強調月間」等に呼応して、懸垂幕の掲示、地域での有害環境浄化運動を行い、青少年の非行防止対策活動と健全育成に関する事業の推進に努めている。

また、平成 12 年 2 月には、12 の青少年育成委員会相互交流や情報交換を密にしていいため墨田区青少年育成委員会連絡協議会を発足させた。

地区青少年育成委員会では、地域内の町会・自治会、PTA、青少年団体、女性団体の代表者とともに、民生委員・児童委員、保護司、区立小・中学校長、区立小・中学校生活指導主任、青少年委員等が委員となって活動している。

なお、区立中学校の統廃合(向島中学校・鐘淵中学校、吾孀第一中学校・立花中学校)に伴い、平成 26 年 3 月に吾孀一中地区、向中地区、鐘中地区及び立花中地区の各地区青少年育成委員会が解散し、平成 26 年度には、新たに桜堤中地区及び吾孀立花中地区の各地区青少年育成委員会が設立され、当区の地区青少年育成委員会は 10 地区となっている。

墨田区青少年育成委員会委員長名簿

(令和 5 年 7 月 1 日現在)

地区委員会名	委員長名
墨中地区青少年育成委員会	西村紀子
本中地区青少年育成委員会	安藤玲子
両中地区青少年育成委員会	山口仁美
竪中地区青少年育成委員会	横井新一
錦中地区青少年育成委員会	小林厚子
吾孀二中地区青少年育成委員会	坂井正廣
寺中地区青少年育成委員会	堀口義晃
文花中地区青少年育成委員会	市川清
桜堤中地区青少年育成委員会	長谷川豊
吾孀立花中地区青少年育成委員会	吉澤利雄

青少年非行・被害防止運動等

青少年の非行・被害防止・健全育成を図るため、各団体等の協力のもと、地域環境の浄化等効果的な事業を行い、青少年問題に対する意識の啓発に努めている。

こども家庭庁が主唱する 7 月の青少年非行・被害防止強調月間、11 月の子ども・若者育成支援推進強調月間に呼応して事業を行っている。

ア 社会を明るくする運動

「社会を明るくする運動」は法務省の主唱のもとで行われる全国的な運動で、全ての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築くことを目指している。令和5年度で73回目を迎える。墨田区推進委員会の委員長は墨田区長である。

本区では、JR錦糸町駅頭での広報活動や各種集会への協力、物資補助等を行っている。

イ 子ども・若者育成支援推進強調月間

「子ども・若者育成支援推進強調月間」は内閣府の主唱のもとで行われており、毎年11月が強調月間となっている。

(ア) 青少年健全育成区民大会

本区では、子ども・若者育成支援推進強調月間にあわせて「青少年健全育成区民大会」を開催している。大会では、青少年非行・被害防止・健全育成活動関係者が一堂に会し、広く区民に訴え、意識の高揚を図っている。

(イ) 青少年健全育成作文コンクール

青少年の健全育成のため、大人が青少年の意識や考え方について理解を深めることを目的として毎年行われ、入賞者は、青少年健全育成区民大会の中で表彰される。また、入賞作品のうち、最優秀賞・優秀賞受賞作品は、優秀作品集として印刷・製本し、関係方面に配布される。

(令和4年度実績)

- a 対象 区内の小学1年生から中学3年生まで
- b 応募数 小・中学校あわせて 5,367 編
- c 入賞者 168 名

帰宅呼びかけ放送

遅くまで遊んでいる子どもに帰宅を呼びかけるため、毎日夕方、防災無線を利用して「夕焼け小焼け」のメロディを流している。

ア 放送時間

- (ア) 4月から9月まで 午後5時30分
- (イ) 10月から3月まで 午後4時30分

4 文化財事業

文化財の保護と活用

ア 文化財保護の目的

文化財は、日本の長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日の世代に守り伝えられてきた貴重な国民的財産である。これは、日本の歴史、文化等の正しい理解のために欠くことのできないものであると同時に、将来の文化の向上発展の基礎をなすものである。日本の文化財保護行政は、その制度が明治期に創設され、時代情勢を反映した数次の改正を経て今日に至っている。そして、保護の対象が拡大するとともに、その方法にも種々の配慮が払われ、国と地方公共団体、所有者、国民が一体となって、文化財を保存して次世代に継承し、積極的に公開・活用していくよう努めている。

イ 文化財の定義

文化財保護法で、「文化財」とは、次に掲げるものをいう。

有形文化財		・ 建造物、絵画、彫刻、工芸品、書跡、典籍、古文書その他の有形の文化的所産で我が国にとって歴史上又は芸術上価値の高いもの ・ 考古資料及びその他の学術上価値の高い歴史資料
無形文化財		演劇、音楽、工芸技術その他の無形の文化的所産で我が国にとって歴史上又は芸術上価値の高いもの
民俗文化財	無形民俗文化財	衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能、民俗技術で国民の生活の推移の理解のため欠くことのできないもの
	有形民俗文化財	無形民俗文化財に用いられる衣服、器具、家屋その他の物件で国民の生活の推移の理解のため欠くことのできないもの
記念物	史跡	貝塚、古墳、都城跡、城跡、旧宅その他の遺跡で我が国にとって歴史上又は学術上価値の高いもの
	名勝	庭園、橋梁、峡谷、海浜、山岳その他の名勝地で我が国にとって芸術上又は観賞上価値の高いもの
	天然記念物	動物、植物及び地質鉱物で我が国にとって学術上価値の高いもの
文化的景観		地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で国民の生活又は生業の理解のため欠くことのできないもの
伝統的建造物群		周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的な建造物群で価値の高いもの

ウ 文化財の種類・指定等

文化財保護法では、文化財を「有形文化財」、「無形文化財」、「民俗文化財」、「記念物」、「文化的景観」及び「伝統的建造物群」と定義し、これらの文化財のうち、重要なものを国が指定・選定・登録し、重点的に保護している。重要文化財等の指定・選定・登録は、文部科学大臣が文化審議会に諮問し、その答申を受ける。

エ 墨田区の文化財

江戸時代以前から文化発祥の地であった本区は、大洪水や関東大震災、東京大空襲などで、壊滅的な被害を受け、多くの文化財を失った。そこで区では残された歴史的な文化財や史跡を保護するため、昭和57年に墨田区文化財保護条例を制定し、調査・研究を積み重ね、文化財として登録・指定することで保護に努めている。また、公開展示等により文化的活用を図るとともに、墨田区文化財保護奨励金（昭和58年墨田区文化財保護奨励金交付要綱）の交付を行い、指定・登録文化財及び技術認定保持者への支援を行っている。

オ 墨田区登録文化財の現状

令和5年3月31日現在、有形文化財 89 件、有形民俗文化財 35 件、無形文化財 20 件、無形民俗文化財 2 件、史跡 5 件、名勝 1 件、天然記念物 1 件を文化財として登録している（総数 153 件、うち指定文化財 23 件）。

〔墨田区文化財保護審議会委員〕 (令和5年6月1日現在)

氏名	現職等
今井 達	白鬚神社宮司
小澤 弘	淑徳大学人文学部客員教授
小岩 正樹	早稲田大学理工学術院准教授
塩澤 寛樹	群馬県立女子大学文学部教授
谷川 章雄	早稲田大学人間科学学術院教授
中野 達哉	駒澤大学文学部教授
山崎 祐子	宮本記念財団理事

会長 副会長

〔墨田区文化財調査員〕 (令和5年6月1日現在)

氏名	現職等
千葉 麻由子	早稲田大学嘱託研究員
高田 圭祐	早稲田大学理工学学術院建築学科助手
鄧 君龍	豊島区立郷土資料館学芸員

〔墨田区指定文化財〕 (令和5年3月31日現在)

種別	名称	所有者・管理者	所在地
1 有形文化財(建造物)	旧小山家住宅	すみだ郷土文化資料館	立花 6-13-17(立花大正民家園内)
2 有形文化財(建造物)	多聞寺山門	多聞寺	墨田 5-31-13
3 有形文化財(建造物)	弘福寺本堂(大雄寶殿)	弘福寺	向島 5-3-2
4 有形文化財(絵画・典籍)	紙本着色「梅若権現御縁起」(全三巻)附漆箱二匣	木母寺	堤通 2-16-1
5 有形文化財(絵画)	絹本着色「水野忠啓像」椿椿山筆(檜崎宗重コレクション)	すみだ北斎美術館	亀沢 2-7-2
6 有形文化財(絵画)	麻布油絵「三宅康直像」高橋由一筆(檜崎宗重コレクション)	同上	同上
7 有形文化財(絵画)	絹本着色「佐久間象山塾居図」川上冬崖筆(檜崎宗重コレクション)	同上	同上
8 有形文化財(絵画)	紙本淡彩「山水図」高芙蓉筆(檜崎宗重コレクション)	同上	同上
9 有形文化財(絵画)	紙本着色「花卉図」深江蘆舟筆(檜崎宗重コレクション)	同上	同上
10 有形文化財(絵画)	絹本着色「峠茶屋図」蹄齋北馬筆(檜崎宗重コレクション)	同上	同上
11 有形文化財(絵画)	紙本着色「母子犬図」長沢蘆雪筆(檜崎宗重コレクション)	同上	同上
12 有形文化財(絵画)	紙本着色「耶馬溪真景図巻」森寛齋筆(檜崎宗重コレクション)	同上	同上
13 有形文化財(絵画)	木版画「富嶽三十六景 武州玉川」葛飾北斎筆 錦絵大判(ピーター・モースコレクション)	同上	同上
14 有形文化財(絵画)	木版画「牡丹に胡蝶」葛飾北斎筆 錦絵大判(ピーター・モースコレクション)	同上	同上
15 有形文化財(絵画)	木版画「寺島法泉寺詣」葛飾北斎筆(ピーター・モースコレクション)	同上	同上

種 別	名 称	所有者・管理者	所 在 地
16	有形文化財(絵画) 木版画「伊勢屋利兵衛板 新板浮絵 江戸名所」葛飾北斎筆(ピーター・モースコレクション)	同上	同上
17	有形文化財(絵画) 狂歌絵本(版本)「初若菜」樵歌亭笛成序 葛飾北斎挿絵(ピーター・モースコレクション)	同上	同上
18	有形文化財(絵画) 狂歌絵本(版本)「さむたらかすみ」千穂庵三陀羅法師撰 葛飾北斎挿絵(ピーター・モースコレクション)	同上	同上
19	有形文化財(絵画) 絹本着色五百羅漢図	弘福寺	向島 5-3-2
20	有形文化財(彫刻) 弘福寺の木造鐵牛禪師倚像 附蓮華形木板貼付銅鑄三十五尊	同上	同上
21	有形文化財(歴史資料) 「一勇斎歌川先生墓表」(歌川国芳顕彰碑)	三囲神社	向島 2-5-17
22	有形文化財(歴史資料) 石造墨堤永代常夜燈	牛嶋神社	向島 5-1 (隅田公園内)
23	天然記念物 飛木稻荷神社のイチョウ	飛木稻荷神社	押上 2-39-6

〔墨田区登録文化財〕

(令和5年3月31日現在)

種 別	名 称	所有者・管理者	所 在 地
1	有形文化財(建造物) 白髭神社石造鳥居	白髭神社	立花6-19-17
2	有形文化財(建造物) 牛嶋神社石造鳥居	牛嶋神社	向島1-4-5
3	有形文化財(建造物) 多聞寺山門	多聞寺	墨田5-31-13
4	有形文化財(建造物) 旧小山家住宅	すみだ郷土文化資料館	立花6-13-17(立花大正民家園内)
5	有形文化財(建造物) 小林家住宅	個人蔵	八広6
6	有形文化財(建造物) 三囲神社石造鳥居(堤下の大鳥居)	三囲神社	向島2-5-17
7	有形文化財(建造物) 弘福寺本堂(大雄寶殿)	弘福寺	向島5-3-2
8	有形文化財(建造物) 三囲神社本社	三囲神社	向島2-5-17
9	有形文化財(建造物) 旧鈴木八太郎家住宅	個人蔵	立花6
10	有形文化財(建造物) 牛嶋神社社殿	牛嶋神社	向島1-4-5
11	有形文化財(建造物) 牛嶋神社神輿蔵	同上	同上
12	有形文化財(建造物) 隅田川神社社殿	隅田川神社	堤通2-17-1
13	有形文化財(絵画・典籍) 紙本着色「梅若権現御縁起」(全三巻)附漆箱二匣	木母寺	堤通2-16-1
14	有形文化財(絵画・歴史資料) 檜崎宗重博士旧蔵美術資料群(檜崎宗重コレクション)	すみだ北斎美術館	亀沢2-7-2
15	有形文化財(絵画・歴史資料) 紙本着色「隅田川兩岸景色図」一巻	同上	同上
16	有形文化財(絵画) 板絵墨絵「神竜図」 鴨下晁湖筆	隅田稻荷神社	墨田4-38-13
17	有形文化財(絵画) ピーター・モース氏旧蔵北斎関係美術資料群(ピーター・モースコレクション)	すみだ北斎美術館	亀沢2-7-2
18	有形文化財(絵画) 絹本着色涅槃図 神田吉左衛門筆	圓徳寺	墨田5-42-17
19	有形文化財(絵画) 弘福寺所蔵絵画資料	弘福寺	向島5-3-2
20	有形文化財(絵画) 紙本着色涅槃図	法泉寺	東向島3-8-1
21	有形文化財(彫刻) 法泉寺の銅造地藏菩薩立像	同上	同上
22	有形文化財(彫刻) 春慶寺の木造普賢菩薩立像	春慶寺	業平2-14-9
23	有形文化財(彫刻) 銅造檀本武揚像	墨田区	堤通2-6-10 (梅若公園内)
24	有形文化財(彫刻) 弘福寺の木造鐵牛禪師倚像 附蓮華形木板貼付銅鑄三十五尊	弘福寺	向島5-3-2
25	有形文化財(彫刻) 本久寺の木造日蓮聖人坐像	本久寺	東駒形2-21-12

種 別	名 称	所有者・管理者	所 在 地
26 有形文化財(彫刻)	本久寺の木造四天王立像	本久寺	東駒形2-21-12
27 有形文化財(彫刻)	法泉寺の木造釈迦如来坐像、木造阿難尊者立像及び木造迦葉尊者立像	法泉寺	東向島3-8-1
28 有形文化財(彫刻)	法泉寺の木造達磨大師坐像及び木造大権修理菩薩倚像	同上	同上
29 有形文化財(彫刻)	弘福寺の木造釈迦如来坐像	弘福寺	向島5-3-2
30 有形文化財(彫刻)	大徳院の木造薬師如来坐像	大徳院	両国2-7-13
31 有形文化財(彫刻)	大徳院の木造日光菩薩立像及び木造月光菩薩立像	同上	同上
32 有形文化財(工芸品)	佐原家所蔵隅田川焼	個人蔵	東向島3
33 有形文化財(工芸品)	鳥井家所蔵京山焼	個人蔵	八広1
34 有形文化財(工芸品)	弘福寺の梵鐘	弘福寺	向島5-3-2
35 有形文化財(古文書)	伊勢参宮致道中覚之帳	個人蔵	東向島2
36 有形文化財(古文書)	武蔵国隅田村成林庵由来中興再建旨趣書	成林庵	墨田2-11-12
37 有形文化財(古文書)	村方議定書	白髭神社	立花6-19-17
38 有形文化財(古文書)	秋葉神社文書	秋葉神社	向島4-9-13
39 有形文化財(古文書)	大沢家文書	すみだ郷土文化資料館	向島2-3-5
40 有形文化財(古文書)	法泉寺文書	法泉寺	東向島3-8-1
41 有形文化財(書跡)	近衛信尹墨跡 紙本墨書詠草二首 近衛信尹筆一幅 紙本墨書木母寺 近衛信尹筆一幅(附木箱および極状一通)	木母寺	堤通2-16-1
42 有形文化財(歴史資料・書跡)	木造扁額「牛嶋学校」 榎本武揚筆	すみだ郷土文化資料館	向島2-3-5
43 有形文化財(歴史資料・書跡)	紙本墨書扁額「時敏塾」 池田輝知筆	同上	同上
44 有形文化財(歴史資料)	都鳥手鑑	木母寺	堤通2-16-1
45 有形文化財(歴史資料)	正福寺の板碑	正福寺	墨田2-6-20
46 有形文化財(歴史資料)	法泉寺所蔵板碑	法泉寺	東向島3-8-1
47 有形文化財(歴史資料)	啓運閣所蔵板碑	啓運閣教会	墨田3-6-14
48 有形文化財(歴史資料)	鈴木家所蔵板碑 昭和59年登録	個人蔵	東向島4
49 有形文化財(歴史資料)	松尾芭蕉「いざさらば」の句碑(雪見の句碑)	長命寺	向島5-4-4
50 有形文化財(歴史資料)	橋本家旧蔵板碑	すみだ郷土文化資料館	向島2-3-5
51 有形文化財(歴史資料)	烏亭焉馬「いそがずば」の狂歌碑	牛嶋神社	向島1-4-5
52 有形文化財(歴史資料)	宝井其角「ゆうだちや」の句碑(雨乞いの句碑)	三囲神社	向島2-5-17
53 有形文化財(歴史資料)	秋葉神社の石造燈籠 寛保元年銘 二基 宝永元年銘 二基 宝永二年銘 二基	秋葉神社	向島4-9-13
54 有形文化財(歴史資料)	蓮花寺の石柱道標 文化十五年銘 一基 文政五年銘 一基	蓮花寺	東向島3-23-17
55 有形文化財(歴史資料)	要津寺雪中庵関係石碑群	要津寺	千歳2-1-16
56 有形文化財(歴史資料)	多聞寺の板碑	多聞寺	墨田5-31-13
57 有形文化財(歴史資料)	鈴木家所蔵板碑 昭和60年登録	個人蔵	東向島4
58 有形文化財(歴史資料)	石造海難供養碑	回向院	両国2-8-10
59 有形文化財(歴史資料)	三囲神社の石造常夜燈	三囲神社	向島2-5-17
60 有形文化財(歴史資料)	石造墨堤永代常夜燈	牛嶋神社	向島5-1 (隅田公園内)
61 有形文化財(歴史資料)	吾孀神社の連理の楠	吾孀神社	立花1-1-15
62 有形文化財(歴史資料)	墨堤植桜之碑	墨田区	向島5-4 (隅田公園内)
63 有形文化財(歴史資料)	絹本墨書扁額「明明徳」	明德校友会	東駒形3-1-10 (本所中学校内)
64 有形文化財(歴史資料)	歌川豊広辞世の狂歌碑	墨田区	東向島1-7-11(露伴児童遊園内)

種 別	名 称	所有者・管理者	所 在 地	
65	有形文化財(歴史資料)	石造標柱「隅田公園入口」	同上	吾妻橋1-23 (隅田公園内)
66	有形文化財(歴史資料)	石造「夜雀井銘」の碑	妙縁寺	吾妻橋2-2-10
67	有形文化財(歴史資料)	生月鯨太左衛門の墓	天祥寺	吾妻橋2-6-5
68	有形文化財(歴史資料)	無縁法界塔	回向院	両国2-8-10
69	有形文化財(歴史資料)	板坂如春関係石碑(二基)	東漸寺	立花6-17-4
70	有形文化財(歴史資料)	芥川家旧蔵雛人形	すみだ郷土文化資料館	向島2-3-5
71	有形文化財(歴史資料)	「天下之糸平」の碑	木母寺	堤通2-16-1
72	有形文化財(歴史資料)	大石三平墓	福蔵寺	東駒形3-21-3
73	有形文化財(歴史資料)	江島杉山神社の銅製釣燈籠	江島杉山神社	千歳1-8-2
74	有形文化財(歴史資料)	佐羽淡斎「墨多三絶」の漢詩碑	白鬚神社	東向島3-5-2
75	有形文化財(歴史資料)	龜田鵬斎「題隅田堤櫻花」の漢詩碑	木母寺	堤通2-16-1
76	有形文化財(歴史資料)	「吾孀森碑」	吾孀神社	立花1-1-15
77	有形文化財(歴史資料)	近松門左衛門供養碑(断片)	法性寺	業平5-7-7
78	有形文化財(歴史資料)	「一勇斎歌川先生墓表」(歌川国芳顕彰碑)	三囲神社	向島2-5-17
79	有形文化財(歴史資料)	「勝川春英翁略傳」の碑	長命寺	向島5-4-4
80	有形文化財(歴史資料)	初代歌川豊国筆塚(断片)	法性寺	業平5-7-7
81	有形文化財(歴史資料)	窪俊満「故郷の」の歌碑	法泉寺	東向島3 8 1
82	有形文化財(歴史資料)	太田氏七代供養塔	法恩寺	太平1-26-16
83	有形文化財(歴史資料)	旗本太田資同供養塔	同上	同上
84	有形文化財(歴史資料)	隅田川神社資料	隅田川神社	堤通2-17-1
85	有形文化財(歴史資料)	鈴木家旧蔵雛人形	すみだ郷土文化資料館	向島 2-3-5
86	有形文化財(歴史資料)	矢掛弓雄関係石碑群	隅田川神社	堤通2-17-1
87	有形文化財(歴史資料)	木阿弥(元空綱)「けふよりも」の歌碑	同上	同上
88	有形文化財(考古資料)	錦糸町駅北口遺跡出土木製大小暦	すみだ郷土文化資料館	向島2-3-5
89	有形文化財(考古資料)	江東橋二丁目遺跡出土土製品類	同上	同上
90	有形民俗文化財	牛嶋神社の石造狛犬 享保十四年銘 一对 文政十年銘 一对	牛嶋神社	向島1-4-5
91	有形民俗文化財	三囲神社の石造狛犬	三囲神社	向島2-5-17
92	有形民俗文化財	如意輪寺の六面六地藏石幢	如意輪寺	吾妻橋1-22-14
93	有形民俗文化財	正福寺の石造阿弥陀如来立像	正福寺	墨田2-6-20
94	有形民俗文化財	多聞寺の石造庚申塔(阿弥陀如来)	多聞寺	墨田5-31-13
95	有形民俗文化財	圓徳寺の石造庚申塔(釈迦如来)	圓徳寺	墨田5-42-17
96	有形民俗文化財	吾孀神社の石造狛犬	吾孀神社	立花1-1-15
97	有形民俗文化財	庚申講法具	個人蔵	立花1
98	有形民俗文化財	萬福寺の石造庚申塔(青面金剛童子)	萬福寺	東墨田3-12-19
99	有形民俗文化財	白鬚神社の石造狛犬	白鬚神社	東向島3-5-2
100	有形民俗文化財	香取神社の石造水鉢(禊盥)	香取神社	文花2-5-8
101	有形民俗文化財	牛嶋神社の石造神牛	牛嶋神社	向島1-4-5
102	有形民俗文化財	三囲神社の石造神狐	三囲神社	向島2-5-17
103	有形民俗文化財	長命寺の石造庚申塔(地藏菩薩)	長命寺	向島5-4-4
104	有形民俗文化財	正覚寺の石造庚申塔(青面金剛童子)	正覚寺	八広5-32-7 (八広庚申堂)
105	有形民俗文化財	回向院の石造阿弥陀三尊立像	回向院	両国2-8-10
106	有形民俗文化財	回向院の六面六地藏石幢(安政二年大地震・ 安政三年大水横死者供養塔)	同上	同上
107	有形民俗文化財	円通寺の石造地藏菩薩立像	円通寺	押上2-39-6
108	有形民俗文化財	多聞寺の石造六地藏坐像	多聞寺	墨田5-31-13
109	有形民俗文化財	法泉寺の石造地藏菩薩立像	法泉寺	東向島3-8-1
110	有形民俗文化財	東漸寺の石造庚申道標	東漸寺	立花6-17-4

種 別	名 称	所有者・管理者	所 在 地	
111	有形民俗文化財	牛嶋神社境内力石群	牛嶋神社	向島1-4-5
112	有形民俗文化財	力石	墨田区	東向島2-40-6
113	有形民俗文化財	吾孀神社境内力石群	吾孀神社	立花1-1-15
114	有形民俗文化財	牛嶋神社石造神牛(撫牛)	牛嶋神社	向島1-4-5
115	有形民俗文化財	鼠小僧供養碑(鼠小僧の墓)	回向院	両国2-8-10
116	有形民俗文化財	安藤家旧蔵田舟	すみだ郷土文化資料館	向島2-4-10 (小梅小学校)
117	有形民俗文化財	江島杉山神社境内力石	江島杉山神社	千歳1-8-2
118	有形民俗文化財	山玉向嶋講社の碑	高木神社	押上2-37-9
119	有形民俗文化財	山玉向嶋講社の碑	白鬚神社	東向島3-5-2
120	有形民俗文化財	出羽三山の碑	長命寺	向島5-4-4
121	有形民俗文化財	柳嶋村念仏講道具一式 附関連文書	すみだ郷土文化資料館	向島2-3-5
122	有形民俗文化財	山玉向嶋講社富士講祭祀具一式 附関連資料	個人蔵	東向島2
123	有形民俗文化財	山玉向嶋講社富士講先達遺品 附関連資料	個人蔵	東向島2
124	有形民俗文化財	旧小村井の庚申塔群 附関連資料	個人蔵	立花1
125	無形文化財(工芸技術)	裁縫(足袋仕立て)	宮内順子	緑1
126	無形文化財(工芸技術)	人形製作(市松人形づくり)	藤村泰夫(光環)	本所3
127	無形文化財(工芸技術)	裁縫(鳶装束づくり)	磯貝鉄夫	業平1
128	無形文化財(工芸技術)	ブラシ制作(手植えブラシ制作)	田中久継	緑1
129	無形文化財(工芸技術)	江戸木目込人形づくり	塚田進(塚田詠春、六代名川春山)	向島2
130	無形文化財(工芸技術)	竹細工(江戸和竿製作)	奥平辰之(三代竿辰)	業平2
131	無形文化財(工芸技術)	押絵羽子板製作(押絵)	青山美代子	押上3
132	無形文化財(工芸技術)	押絵羽子板製作(面相)	野口豊生(五代武蔵屋豊山)	石原1
133	無形文化財(工芸技術)	ガラス工芸(江戸切子)	山田輝雄	立花1
134	無形文化財(工芸技術)	組み紐・結び	深井しげ子	錦糸1
135	無形文化財(工芸技術)	江戸小紋	五月女利夫(利光)	東駒形4
136	無形文化財(工芸技術)	漆工	安宅信太郎	向島3
137	無形文化財(工芸技術)	江戸小紋	中條隆一	八広2
138	無形文化財(工芸技術)	裁縫(足袋仕立て)	石井芳和	向島5
139	無形文化財(工芸技術)	裁縫(足袋仕立て)	石井きよ子	向島5
140	無形文化財(工芸技術)	藍染(長板中形)	藤澤幸宏	京島1
141	無形文化財(工芸技術)	金工(鍔金具づくり)	塩澤政子	石原1
142	無形文化財(工芸技術)	押絵羽子板製作(面相・押絵)	西山和宏(二代鴻月)	向島5
143	無形文化財(工芸技術)	江戸表具	前川治	千歳3
144	無形文化財(工芸技術)	表装(屏風づくり)	片岡 恭一	向島1
145	無形民俗文化財(民俗芸能)	隅田囃子(箕輪囃子)	箕輪家流墨田囃子保存会	
146	無形民俗文化財(風俗慣習)	隅田川七福神めぐり	隅田川七福会	
147	史跡	橘守部墓・橘冬照墓	長命寺	向島5-4-4
148	史跡	肥前平戸藩松浦家墓所	天祥寺	吾妻橋2-6-5
149	史跡	池田冠山墓	弘福寺	向島5-3-2
150	史跡	常陸笠間藩牧野家墓所	要津寺	千歳2-1-16
151	史跡	回向院相撲関係石碑群(力塚)	日本相撲協会	両国2-8-10
152	天然記念物	飛木稻荷神社のイチョウ	飛木稻荷神社	押上2-39-6
153	名勝	墨堤の桜	墨田区	向島2先～向島1-2(桜橋～枕橋手前)

[令和 4 年度実施事業]

1 展示・見学・体験等事業

事業名	開催日	内容
ゆかりの展示	8月9日～8月28日	「墨田区の遺跡 2022」
史跡めぐり	10月29日	すみだの近代住宅（旧小山家住宅等）
	第1回：12月2日	隅田宿周辺の歴史を探る （正福寺、梅若塚、木母寺、隅田宿跡、隅田川神社）
	第2回：2月17日	
おとなの伝統 工芸体験講座	11月5日	江戸木目込人形（福来朗）づくり 塚田工房
	11月19日	藍染（長板中形・ハンカチの絞り染め） 藍や松善工房

2 史跡説明板の設置等

種 類	内 容	数 量
建替・板面交換	橘守部墓・橘冬照墓、松尾芭蕉「いざさらば」の句碑（雪見の句碑）、柳北仙史之像碑、鷲津毅堂之碑、向島艇庫村跡	5基
令和5年3月31日現在設置数		118基

埋蔵文化財

ア 埋蔵文化財の定義

土地に埋蔵されている文化財（主に遺跡といわれている場所）を文化財保護法第 92 条第 1 項で「埋蔵文化財」と定めている。埋蔵文化財の存在が知られている土地（周知の埋蔵文化財）は全国で約 46 万か所あり、毎年 9 千件程度の発掘調査が行われている。

イ 埋蔵文化財保護体制の充実

昭和 29 年の文化財保護法改正以降、高度経済成長などに伴う大規模開発は、土地に係する文化財、特に埋蔵文化財の保存に危機をもたらした。このような状況の下、文化財の保護体制を強化すべきとの認識が高まり、昭和 50 年に文化財保護法が改正された。法改正の最大の眼目は、各種の開発事業の進展から埋蔵文化財の保護を強化することにあり、遺跡発見の際の工事の停止命令等（文化財保護法第 96 条）の制度化などの手続規定が整備された。本区では、埋蔵文化財を保護するために「墨田区埋蔵文化財取扱要綱」（平成 12 年 1 月 1 日適用）を定め、開発事業者等に協力を求めている。

本区ではこれまでに文化財保護法に基づく「周知の埋蔵文化財包蔵地」として 119 か所登録している（令和 5 年 3 月 31 日現在）。

ウ 埋蔵文化財と法の届出

文化財保護法では、周知の埋蔵文化財包蔵地において土木工事などの開発事業を行う場合には、事前の届出等（文化財保護法第 93 条・第 94 条）を、また新たに遺跡を発見した場合にも届出等（文化財保護法第 96 条・第 97 条）を行うよう求めている。

[墨田区内の遺跡]

(令和 5 年 3 月 31 日現在)

遺跡番号	遺跡名	所在地 (住居表示)	時代	種別	主な遺構	主な出土遺物	開発状況 (現況等)
1	梅若塚	堤通二丁目 6 番	中世	塚			区立梅若公園 (都旧跡)
2	墨田区 2	立花一丁目 1 番 15 号	縄文	包蔵地		縄文土器(後期)	吾嬬神社
3	墨田区 3	東向島一丁目 28 番 10・11 号	近世	百姓地跡	井戸	井戸桶	商業ビル
4	普賢寺	東駒形一丁目 5・6 番	江戸	寺社地跡	墓跡	墓石、人骨等	都道・民地
5	墨田区 5	横網一丁目 3 番 28 号	古墳・江戸	包蔵地・幕府御用地跡	堀割	土師器、陶磁器類等	両国国技館
6	墨田区 6	東駒形三丁目 21 番先	江戸	寺社地跡	墓跡	陶磁器類、人骨等	区道
		吾妻橋二丁目 2 番 14 号	江戸	寺社地跡	墓、土坑、溝、整地層(盛土)	陶磁器・土器、人骨	更地
7	墨田区 7	吾妻橋一丁目 23 番	江戸	武家屋敷跡		陶磁器類、木製品等	墨田区庁舎、アサヒビール本社
8	大雲寺跡	業平三丁目 2 番 5 号	江戸	寺社地跡	墓跡(蔵骨器、早桶、甕棺等)	陶磁器類、木製品、金属製品、人骨等	墨田区防災待機職員住宅
9	墨田区 9	向島一丁目 15 番 12 号	江戸	町人地跡	木桶		個人住宅
10	墨田区 10	太平一丁目 22 番 5・12 号	江戸	寺社地跡	墓跡(箱型木棺、早桶)	陶磁器類、銭貨等	集合住宅
		太平一丁目 22 番 10 号	江戸	寺社地跡	墓跡(箱型木棺、早桶)	陶磁器類、木製品、瓦、金属製品、人骨等	集合住宅
		太平一丁目 22 番 10 号	江戸	寺社地跡	墓跡(甕棺、箱型木棺、早桶、土器棺、火葬蔵骨器)	陶磁器類、漆・木製品、瓦、金属製品、人骨等	集合住宅
11	本所御蔵跡	横網一丁目 4 番	江戸	幕府御用地跡	堀割跡(石組、土留)	陶磁器類、瓦類、木製品、金属製品等	東京都江戸東京博物館
		横網一丁目 6・8 番	江戸	幕府御用地跡	堀割跡(土留)	陶磁器類、瓦類、木製品、金属製品等	国際ファッションセンタービル 両国中学校
		横網一丁目 9 番	江戸	幕府御用地跡	堀割跡	陶磁器類、瓦類、木札・木製品、金属製品等	NTTドコモ 墨田ビル
		横網二丁目 3 番	江戸	幕府御用地跡	堀割跡(土留)	陶磁器類、瓦類、金属製品等	都立横網町公園
		横網一丁目 10 番	江戸	幕府御用地跡	堀割跡(石組)、石組下水	陶磁器類等	集合住宅
12	陸奥弘前藩上屋敷跡	緑二丁目 24 番 5・6 号	江戸	武家屋敷跡	上水跡(木樋、木榭、井戸桶)	陶磁器類、木製品類	区立緑図書館
		緑二丁目 23 番 3 号	江戸	武家屋敷跡	上水跡(木樋、木榭、井戸)		区立緑町公園、こひつじ保育園
		亀沢二丁目 7 番 2 号	江戸	武家屋敷跡	建物跡、土蔵跡、穴蔵、石組下水、上水跡(木樋、木榭、井戸)	陶磁器類、瓦、木製品、金属製品、貝類	すみだ北斎美術館
		緑二丁目 18 番 7 号	江戸	武家屋敷跡	井戸跡、埋榭、建物基礎・杭、小穴	陶磁器類、土製品、瓦、木製品等	共同住宅
		緑二丁目 20 番 9 号	江戸	武家屋敷跡	礎石、建物基礎杭、溝、土坑、整地層(盛土)	陶磁器・土器、木製品	更地
13	錦糸町駅北口	錦糸一丁目 2 番 1~6 号	江戸	武家屋敷跡	建物跡、土坑、池跡、溝等	陶磁器類、瓦、木製品、金属製品等	アルカタワーズ
14	江東橋二丁目	江東橋二丁目 19 番 12・14 号	江戸	武家屋敷跡	建物跡、土坑、池跡、井戸等	陶磁器類、瓦、木製品、金属製品等	集合住宅、ハローワーク墨田
15	墨田区 16	本所二丁目 16 番 2 号	江戸	寺社地跡	墓跡(甕棺、早桶、箱型木棺)	陶磁器類、人骨、墓石等	倉庫
		本所一丁目 27 番 8 号	江戸	寺社地跡	溝、土坑、埋甕	陶磁器類、甕、人骨等	集合住宅
16	横川一丁目	横川一丁目 15 番	江戸	旗本屋敷跡	溝、地業痕跡等	陶磁器類、瓦、木製品、金属製品等	都住宅供給公社 (都民住宅)

遺跡番号	遺跡名	所在地 (住居表示)	時代	種別	主な遺構	主な出土遺物	開発状況 (現況等)
17	墨田区 18	業平五丁目6番2号	江戸	寺社地跡	墓跡(甕棺、早桶)	陶磁器類、瓦、木製品、金属製品、人骨等	なりひら清掃事務所・特養老人ホーム
18	本佛寺跡	太平一丁目3番3・6号	江戸	寺社地跡	墓跡(甕棺、早桶等)	人骨、陶磁器等	集合住宅
		太平一丁目3番8号	江戸	寺社地跡	墓跡(甕棺、早桶、箱形木棺等)	人骨、陶磁器類、副葬品類(数珠、漆器、土製品、金属製品等)	集合住宅
19	太平四丁目	太平四丁目1番1~5号	江戸	大名屋敷跡	池跡	陶磁器、瓦、木製品、金属製品等	商業ビル
20	墨田区 23	太平一丁目2番7号	江戸	大名屋敷跡	土留遺構	陶磁器類、瓦	集合住宅
		太平一丁目15番13号	江戸	大名屋敷跡	池跡、土留	陶磁器類、瓦、木製品等	集合住宅
21	肥前平戸新田藩下屋敷跡	錦糸四丁目16番7号	江戸	大名屋敷跡	池跡、溝等	陶磁器、瓦、木製品、金属製品等	東京簡易裁判所墨田分室
22	墨田区 25	錦糸四丁目15番1号	江戸	武家屋敷跡	土留遺構、石組遺構等	陶磁器、瓦、木製品、金属製品等	墨田区総合体育館
23	墨田区 26	吾妻橋一丁目7番6号	江戸	寺社地跡	墓跡(甕棺、早桶、箱形木棺等)	人骨、陶磁器類、副葬品類(数珠、銭貨、鏡、羽子板等)	集合住宅
		吾妻橋一丁目7番13号	江戸	寺社地跡	溝、土坑・小穴、杭列、墓跡(早桶、墓坑等)等	陶磁器類、瓦類、木製品類、人骨、副葬品類(数珠、銭貨等)	集合住宅
24	墨田区 27	亀沢四丁目10番3号	江戸	武家屋敷跡	溝、建物跡、土坑等	陶磁器類、瓦類、木製品類、金属製品	有料老人ホーム
25	太平一丁目	太平一丁目10番12号	江戸	町人地跡	区画溝(土留)、杭列、土坑等	陶磁器類、木製品類	集合住宅
26	墨田区 29	東駒形三丁目16番10号	江戸	寺社地跡	区画溝(杭列)、土坑等	陶磁器類、木製品類	集合住宅
27	墨田区 30	本所一丁目13番4号	江戸	武家屋敷跡	溝、土坑、井戸等	陶磁器類、瓦類、木製品類、金属製品	本所地域プラザ
28	墨田区 31	横川一丁目14番4号	江戸	寺社地跡	墓跡(早桶)	陶磁器類、桶、人骨	集合住宅
29	墨田区 32	千歳三丁目3番	江戸	武家屋敷跡	礎石、溝、土坑、石組等	陶磁器類、瓦類、木製品類、金属製品	集合住宅
30	墨田区 33	錦糸四丁目10番9号	江戸	武家地・村落跡	土坑、溝	陶磁器類、瓦類、木製品類、金属製品	集合住宅
		錦糸四丁目10番4号	江戸	武家地・村落跡	道路状遺構、整地層(盛土)	陶磁器・土器	更地
31	墨田区 34	太平一丁目28番先	江戸	寺社地跡	早桶	人骨、木製品	区道
32	墨田区 35	亀沢四丁目16番17号	江戸	武家地跡	土坑	陶磁器類	集合住宅
33	墨田区 36	太平一丁目16番9号	江戸	町人地跡	土坑、溝	陶磁器類	集合住宅
34	墨田区 37	横綱一丁目12番10号	江戸	武家屋敷跡	土坑、下水	陶磁器類、瓦、土器等	民間博物館
35	墨田区 38	太平一丁目14番8号	江戸	社寺地跡	墓坑	墓石、甕棺、木棺、人骨	民間営業所
36	墨田区 40	立花一丁目2番12号	江戸	村落跡	土坑	陶器類、土器類	集合住宅
37	墨田区 41	業平五丁目3番16号	江戸	寺社地跡	建物基礎、土坑	陶磁器類、瓦	集合住宅
38	墨田区 42	太平一丁目30番5号	江戸	寺社地跡	建物基礎、盛土	陶磁器類	個人住宅
39	墨田区 43	江東橋二丁目18番6号	江戸	武家地跡	盛土	陶磁器類、木製品類	地下駐輪場
40	墨田区 44	東駒形三丁目21番5号	江戸	寺社地跡	溝、杭列、土坑、盛土、埋桶	陶磁器類、土器類、木製品、墓標	集合住宅
41	墨田区 45	東駒形二丁目18番9号	江戸	町人地跡	盛土	陶磁器類、土器類、土製品、漆器類、木材	個人住宅
42	墨田区 46	亀沢四丁目6番3号	江戸	町人地跡	盛土、木組状遺構	陶磁器・土器、瓦	共同住宅
43	墨田区 47	向島一丁目22番16号	江戸	寺社地跡	溝状遺構、土坑	陶磁器、瓦	個人住宅
44	墨田区 48	立花一丁目1番12号	江戸	村落跡	盛土	陶磁器	個人住宅

遺跡番号	遺跡名	所在地 (住居表示)	時代	種別	主な遺構	主な出土遺物	開発状況 (現況等)
45	墨田区 49	文花一丁目 18 番 6 号	江戸	村落跡	盛土	陶磁器・土器	大学校舎
46	墨田区 50	石原一丁目 28 番 1 号	江戸	町人地跡	盛土、杭	陶磁器	ホテル
		石原一丁目 28 番	江戸	町人地跡	建物基礎、土坑、埋桶、溝、埋甕	陶磁器・土器、炆器、瓦、木製品	現在、建築中
47	墨田区 51	横川五丁目 7 番	江戸	武家地跡	盛土、井戸状遺構	陶磁器	
48	墨田区 52	横網二丁目 1 番 11 号	江戸	武家地跡	盛土、礎石、土坑	陶磁器・土器、瓦、木製品	病院
49	墨田区 53	亀沢四丁目 20 番 13 号	江戸	町人地跡	盛土、土坑	陶磁器・土器、瓦、木製品	駐車場
50	墨田区 54	亀沢一丁目 23 番	江戸	武家地跡	盛土、礎石、杭、埋甕	陶磁器・土器、瓦	共同住宅
51	墨田区 55	緑一丁目 24 番 5 号	江戸	武家地跡	盛土、杭	陶磁器・土器	共同住宅
52	墨田区 56	千歳三丁目 4 番 4 号	江戸	武家地跡	盛土、杭、溝状遺構	陶磁器・土器、瓦、木製品	分譲住宅
53	墨田区 57	千歳三丁目 2 番 11 号	江戸	道路	盛土	陶磁器・土器、瓦	個人住宅
54	墨田区 58	本所二丁目 7 番 2 号	江戸	武家地跡	土坑、礎石、杭	陶磁器	自宅併用賃貸住宅
55	墨田区 59	千歳三丁目 15 番 3 号	江戸	堀、河岸	堀跡、盛土、土坑、礎石、杭	陶磁器・土器、土製品	共同住宅
		千歳三丁目 15 番 6 号	江戸	堀、河岸	堀跡、土坑	陶磁器・土器、土製品	ビル
		千歳三丁目 15 番 5 号	江戸	堀	石組護岸	陶磁器	新築建築中
56	墨田区 60	亀沢四丁目 17 番 6 号	江戸	町人地跡	盛土、火事関連遺構	陶磁器・土器、瓦	個人住宅
57	墨田区 61	石原一丁目 25 番 6、7 号	江戸	武家地跡	盛土、埋甕、埋桶、杭	陶磁器、木製品	共同住宅
58	墨田区 62	業平四丁目 15 番 7 号	江戸	寺社地跡	盛土	陶磁器	
59	墨田区 63	江東橋二丁目 13 番 5 号	江戸	武家地跡	穴蔵、礎石、埋桶	陶磁器・土器、木製品	共同住宅
60	墨田区 64	東駒形三丁目 21 番 2 号	江戸	寺社地跡	盛土、土坑	陶磁器、土器	旅館
61	墨田区 65	千歳二丁目 1 番 10 号他	江戸	門前町	土坑、杭、盛土	陶磁器、土器	個人住宅
62	墨田区 66	横川一丁目 3 番	江戸	寺社地跡	墓、盛土	陶磁器・土器、石製品、木製品	共同住宅
63	墨田区 67	本所一丁目 14 番 5 号	江戸	武家地跡	土坑、礎石、盛土	陶磁器	個人住宅
64	墨田区 68	東向島四丁目 2 番 10 号	江戸	武家地・村落跡	溝、下水溝、土坑、盛土	陶磁器、土器、木製品、金属製品、ガラス製品、須恵器	老人ホーム
65	墨田区 69	吾妻橋一丁目 15 番 12 号	江戸	武家地跡	杭、盛土(整地層)、貝集中範囲	陶磁器	ホテル
66	墨田区 70	横網二丁目 3 番 3 号	江戸	武家地跡	井戸、建物基礎、杭、土坑、盛土	陶磁器、土器、瓦	共同住宅
67	墨田区 71	吾妻橋一丁目 21 番 4~6 号	江戸	町人地跡	土坑、下水溝、整地層(盛土)	陶磁器	共同住宅
68	墨田区 72	本所一丁目 25 番 10 号他	江戸	武家地・町人地跡	石組溝、溝、下水木樋、土留め、土坑、杭、整地層(盛土)	陶磁器・土器、土製品、漆・木製品、金属製品	共同住宅
69	墨田区 73	東駒形一丁目 14 番 7 号	江戸	町人地跡	土坑、ピット、盛土	陶磁器、土器、炆器、瓦	共同住宅
70	墨田区 74	本所二丁目 15 番 10 号	江戸	町人地跡	下水木樋、土留、杭列、盛土	陶磁器・土器、土製品、石製品、金属製品、自然遺物	ホテル
71	墨田区 75	亀沢四丁目 15 番 17 号	江戸	町人地跡	土坑、杭、下水溝、礎石、埋桶、盛土	陶磁器・土器、瓦、木製品	共同住宅
72	墨田区 76	本所四丁目 29 番 20 号	江戸	町人地跡	杭、木組、盛土	陶磁器、瓦	共同住宅
73	墨田区 77	太平一丁目 11 番 4、5 号	江戸	町人地跡	土坑、礎石、胞衣皿、盛土、下水溝	陶磁器・土器、木製品、レンガ	共同住宅
74	墨田区 78	亀沢一丁目 21 番 5 号	江戸	武家地跡	溝状遺構、建物杭、盛土	陶磁器、木製品、瓦	共同住宅
		亀沢一丁目 26 番 7 号	江戸	武家地跡	土坑、建物遺跡、大溝、下水溝	陶磁器・土器、炆器、木製品	現在、建築中

遺跡番号	遺跡名	所在地 (住居表示)	時代	武家地跡	主な遺構	主な出土遺物	開発状況 (現況等)
75	墨田区 79	横網二丁目4番7、8号	江戸	町人地跡	土坑、杭、盛土	陶磁器・土器、石製品、木製品	共同住宅
76	墨田区 80	東駒形二丁目13番4号	江戸	町人地跡	土坑、盛土	陶磁器・土器、木製品	共同住宅
77	墨田区 81	緑四丁目34番8・9号	江戸	武家地跡・町人地跡	ゴミ穴、土坑、杭列、盛土	陶磁器・土器、瓦、木製品	共同住宅
78	墨田区 82	石原一丁目29番11号	江戸	武家地跡	下水溝、杭、埋桶、盛土	陶磁器・土器	共同住宅
79	墨田区 83	亀沢四丁目7番7号	江戸	武家地跡	建物基礎、杭列、盛土	陶磁器・土器、瓦	共同住宅
80	墨田区 84	本所一丁目26番7号	江戸	寺社地跡	土坑、整地層(盛土)	陶磁器・土器、木製品	共同住宅
81	墨田区 85	太平二丁目3番	江戸	武家地跡	土坑、溝、盛土	陶磁器・土器	ビル
82	墨田区 86	錦糸四丁目17番3号	江戸	武家地跡	池、杭列、整地層(盛土)	陶磁器・土器	更地
83	墨田区 87	千歳二丁目10番8号他	江戸	町人地跡	池、土坑、整地層(盛土)	陶磁器・土器	共同住宅
84	墨田区 88	江東橋一丁目10番	江戸	武家地跡	礎石、建物基礎杭、溝、土坑、整地層(盛土)	陶磁器・土器、瓦、木製品	更地
85	墨田区 89	千歳三丁目3番10号	江戸	武家地跡	礎石、建物基礎杭、溝、土坑、整地層(盛土)、井戸	陶磁器・土器、瓦、木製品	更地
86	墨田区 90	太平四丁目6番15号	江戸	町人地跡	板組遺構、整地層(盛土)	陶磁器・土器	更地
87	墨田区 91	横網二丁目8番12・13号	江戸	武家地跡	土坑、溝、整地層(盛土)	陶磁器・土器	更地
88	墨田区 92	吾妻橋三丁目6番3号	江戸	寺社地跡	建物杭、盛土(整地層)	陶磁器、瓦	個人住宅
89	墨田区 93	本所一丁目14番	江戸	武家地跡	ゴミ穴、土坑、埋桶、盛土(整地層)	陶磁器・土器、炆器、瓦	更地
90	墨田区 94	太平二丁目8番10号	江戸	武家地跡	土蔵基礎、下水木樋、土坑、杭列、整地層(盛土)	陶磁器・土器、炆器、瓦、木製品、レンガ、ガラス製品(近代)	更地
91	墨田区 95	本所一丁目33番12号	江戸	武家地跡	下水溝、土坑、杭列、整地層(盛土)	陶磁器・土器、瓦	更地
92	墨田区 96	東向島二丁目37番8号	江戸	村落跡	埋桶、杭、盛土(整地層)	陶磁器・土器、瓦、木製品、金属製品	既存建物
93	墨田区 97	東駒形二丁目20番6号	江戸	町人地跡	建物礎石・杭、土坑、不明木造構築物、盛土(整地層)	陶磁器・土器、炆器、瓦、金属製品、ガラス製品、木製品	更地
94	墨田区 98	緑二丁目21番15号	江戸	武家地跡	建物杭、盛土(整地層)	陶磁器・土器、木製品	共同住宅
95	墨田区 99	東駒形一丁目13番6、7号	江戸	町人地跡	建物跡、溝、井戸、土坑、杭、ピット、盛土(整地層)	陶磁器・土器、炆器、瓦、土製品、石製品、木製品、漆器、金属製品	更地
96	墨田区 100	緑二丁目15番6号	江戸	武家地跡	土坑、ピット、盛土(整地層)	陶磁器・土器	更地
97	墨田区 101	業平四丁目7番9号	江戸	墓	墓	陶磁器・土器、木製品、石材、人骨	更地
98	墨田区 102	江東橋一丁目13番2号	江戸	武家地跡	木組遺構、盛土(整地層)	陶磁器、瓦	更地
99	墨田区 103	太平二丁目6番2号	江戸	武家地跡	下水溝、整地層(盛土)	陶器・土器	更地
100	墨田区 104	亀沢四丁目6番5号	江戸	武家地跡	埋甕、木組遺構、土坑、杭列、整地層(盛土)	陶磁器・土器、瓦	更地
101	墨田区 105	横川五丁目6番	江戸	武家地跡・工場跡	木組遺構、整地層(盛土)、工場跡(近代)	陶磁器・土器、瓦、木製品、煉瓦(近代)	駐車場

遺跡番号	遺跡名	所在地 (住居表示)	時代	種別	主な遺構	主な出土遺物	開発状況 (現況等)
102	墨田区 106	亀沢四丁目 15 番 4 号	江戸	町人地跡	溝、整地層(盛土)	陶磁器・土器、瓦	更地
		亀沢四丁目 15 番 11 号	江戸	町人地跡	溝、土坑、杭列、 整地層(盛土)	陶磁器、瓦	更地
103	墨田区 107	東駒形二丁目 14 番 4 号	江戸	武家地跡	ピット、整地層(盛土)	陶磁器・土器、瓦	更地
104	墨田区 108	東駒形二丁目 21 番 8 号	江戸	墳墓	甕棺、整地層(盛土)	陶磁器	個人住宅
105	墨田区 109	本所四丁目 28 番	江戸	武家地跡	建物基礎杭、整地層(盛土)	陶磁器、瓦	共同住宅
106	墨田区 110	業平四丁目 4 番 4 号	江戸	集落	建物基礎、石敷、盛土	陶磁器	更地
107	墨田区 111	吾妻橋二丁目 10 番	江戸	寺社地跡(門前町)	土坑、ピット、整地層(盛土)	陶磁器・土器、瓦	現在、建築中
108	墨田区 112	本所一丁目 31 番 6 号	江戸	町人地跡	木樋、土坑(廃棄土坑)、 整地層(盛土)	陶磁器・土器、 器、瓦	現在、建築中
109	墨田区 113	京島二丁目 9 番 9 号	江戸	村落跡	(土蔵)基礎、木枠遺構	陶磁器・土器、石製品、 木製品	更地
110	墨田区 114	太平三丁目 5 番	江戸	武家地跡	下水木樋、土坑、 溝、整地層(盛土)	陶磁器、木製品	現在、建築中
111	墨田区 115	千歳三丁目 4 番 2 号	江戸	武家地跡	土坑、建物基礎、 整地層(盛土)	陶磁器・土器	更地
112	墨田区 116	緑一丁目 24 番 2、4 号	江戸	武家地跡	建物基礎、下水溝、 木組遺構、盛土	陶磁器・土器、木製品	更地
113	墨田区 117	千歳一丁目 7 番 4 号	江戸	武家地跡 寺社地跡	溝、木組遺構、土坑、 盛土	陶磁器・土器、瓦、 木製品	現在、建築中
114	墨田区 118	横網二丁目 14 番 10 号	江戸	町人地跡	土坑、ピット、整地層(盛土)	陶磁器、土製品、木製品	新築建物建築済
115	墨田区 119	太平三丁目 1 番 6 号	江戸	武家地跡	建物杭、整地層(盛土)	陶磁器	更地
116	墨田区 120	本所四丁目 25 番 12 号	江戸	武家地跡 町人地跡	下水溝、盛土、池跡	陶磁器・土器、瓦、 木製品	現在、建築中
117	墨田区 121	東駒形三丁目 22 番 1、2 号	江戸	武家地跡	石列(池護岸) 盛土	陶磁器・土器	現在、建築中
118	墨田区 122	本所二丁目 17 番	江戸	町人地跡	建物基礎、溝、土坑、 整地層(盛土)	陶磁器、炆器、瓦	更地
119	墨田区 123	吾妻橋三丁目 7 番 14 号	江戸	町人地跡 寺社地跡	土坑、整地層(盛土)	陶磁器・土器	更地

伝統工芸の保存普及

ア 墨田区と工芸技術

江戸時代の職人の集積にはじまり、その後、近代産業を支える土地として発達してきた歴史を振り返ると、工芸技術、特に手工芸の分野の技術は、本区を語る上で欠くことができないものである。本区の無形文化財のほとんどは工芸技術に区分される。工芸技術は人によって体現されるものであるため、その保護に当たっては、作品の紹介・保存のほか、材料の仕入れ、使用する道具、作品が完成するまでの具体的な制作工程、さらには工芸技術者の人となりが併せて伝えられるよう留意している。

イ 体験学習

区内の小・中学生に対しては、平成元年から「伝統工芸体験学習」事業を実施しており、作品づくりを通して伝統工芸に触れる機会を設けている。

区外の小・中学生に対しては、平成 25 年度から墨田区観光協会が実施している。

5 すみだ郷土文化資料館

目的

区民の郷土文化に対する理解を深め、郷土意識の高揚を図るとともに、広く教育、学術及び文化の発展に資するため、資料の収集、保存及び展示に関する事業などを行うことを目的に、平成 10 年 4 月 12 日に開館した。

施設概要

- ア 所在地 向島二丁目 3 番 5 号
電話 5619-7034 FAX 3625-3431
- イ 規模 地上 5 階、地下 1 階 延床面積 1,520.99 m²
- ウ 構造 鉄筋・鉄骨コンクリート造 建設面積 356.51 m²
- エ 施設内容 地下 1 階 受水槽、倉庫
地上 1 階 受付、ミュージアムショップ、展示室(すみだのあゆみ)、図書閲覧コーナー
2 階 展示室(すみだの風光、墨堤のにぎわい、近代すみだと隅田川)
3 階 企画展示室、一般収蔵庫
4 階 事務室、特別収蔵庫
5 階 研修室

施設利用

- ア 開館時間 午前 9 時～午後 5 時(入館は午後 4 時 30 分まで)
- イ 休館日 毎週月曜日(祝日に当たるときは翌日)
12 月 29 日～翌年 1 月 2 日
毎月第 4 火曜日(祝日に当たるときは翌日)

* 大規模修繕工事のため、令和 4 年 9 月 5 日から令和 5 年 3 月 28 日まで臨時休館した。

ウ 観覧料

一 般	個人	100 円
	団体(20 人以上)	80 円
中学生以下の者及び教育委員会が特に必要と認める者		無料

- ・身体障害者手帳・療育手帳・愛の手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人とその介護者
- ・見学児童・生徒の引率教職員など

入館者数(令和 4 年度実績)

有 料		無 料					合 計	
個 人	団 体	子 ども	免 除			招 待 券		そ の 他
			学 校	身 障 者	区 関 係			
2,539 人	22 人	112 人	0 人	128 人	91 人	12 人	859 人	3,763 人

学校との連携事業(展示解説・民具体験・かるた) 教育普及事業の利用実績

・大規模修繕工事を実施したため、その代替として、令和 2～3 年度に作成・配布した郷土学習のためのデジタル教材(DVD-R)を再編し、全小学校に配布したほか、体験用民具の貸出品目を拡充(かつお節削り器に加え、黒電話通話体験セットを追加)し、学校内でミニ展示を開催した。体験用民具の貸出及びミニ展示には 10 校の申込みがあった。

展示内容（令和4年度実績）

種類	事業名	期間
企画展	隅田川堤の桜	2階 2月19日(土)～5月8日(日) 3階 3月5日(土)～5月15日(日)
特集展示	すみだの石鱈 - LIONこの地で130年 -	5月14日(土)～9月4日(日)
企画展	昭和の隅田川花火	5月28日(土)～9月4日(日)
特集展示	すみだの和歌と漢詩	3月29日(水)～6月18日(日)
企画展	すみだの歳時記	3月29日(水)～8月6日(日)

講座・講演会（令和4年度実績）

名称	講演者等	開催日	参加者
空襲体験者によるギャラリートーク	空襲体験者	中止	-
空襲体験者ギャラリートークと平和祈念コンサート	空襲体験者	中止	-
隅田川寄席	落語家	中止	-
新春イベント	邦楽演奏家等	中止	-
古文書講座	資料館学芸員	毎月第1土曜日(4、5、7、9、10、12、2月の7回)	93人
平和教育支援	資料館学芸員の解説と体験者の派遣や証言DVDの上映	小学校9校	1,885人

一部の講座・講演会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止及び大規模修繕工事のため中止した。

刊行物（令和4年度実績）

名称		発行部数	発行時期
すみだ郷土文化資料館だより「みやこどり」	64号 企画展「昭和の隅田川花火」	3,000部	5月
すみだ郷土文化資料館オリジナルカレンダー	すみだの四季カレンダー 令和5年～6年	1,000部	3月

資料館ボランティア

区民ボランティアが、来館者に対する展示解説など資料館事業をサポートする活動を行っている。

また、館のサポートのほか、資料館ボランティアの自主グループであるボランティアの会による自主活動も行っている。

活動内容（令和4年度実績）

個人向け解説（自主活動）	団体向け解説 学校連携事業含む	展示・体験学習等の補助	
毎月2回の定例日	随時	随時	
中止	中止	中止	
郷土かるたの普及活動 （自主活動）	古文書の学習 （自主活動）	見学会（自主活動）	勉強会
随時	毎月1回（第1土曜日）	随時	随時
すみだまつり・こどもまつり 会場で活動紹介画像の上映 （10月）	7回実施	市川市立考古・歴史博物館ほか （4月）ふじみ野市立上福岡歴史 民俗資料館ほか（10月）	4回実施 （6、7、 12、2月）

一部の活動は、新型コロナウイルス感染症拡大防止及び大規模修繕工事のため中止した。

レファレンス（令和4年度実績）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	14	10	25	5	7	23	13	6	15	6	13	12	149

資料の貸出・閲覧件数（令和4年度実績）

月	種別	対象						合計
		区関係	博物館等	映画・テレビ	雑誌等印刷物	個人	その他	
4	貸出							
	閲覧	1(1)		3(12)		1(9)		5(22)
5	貸出							
	閲覧				1(7)		2(9)	3(16)
6	貸出							
	閲覧			1(1)	2(9)			3(10)
7	貸出							
	閲覧	1(2)		1(1)		1(13)		3(16)
8	貸出							
	閲覧	4(205)	1(1)	1(3)		3(22)	1(2)	10(233)
9	貸出							
	閲覧	1(5)					2(17)	3(22)
10	貸出							
	閲覧		2(25)			1(10)	1(7)	4(42)
11	貸出		1(1)					1(1)
	閲覧	2(3)		1(8)			1(2)	4(13)
12	貸出							
	閲覧	1(19)		1(2)		1(28)		3(49)
1	貸出	1(2)						1(2)
	閲覧	1(7)				2(9)		3(16)
2	貸出							
	閲覧	1(8)		1(5)	1(8)	2(5)		5(26)
3	貸出							
	閲覧	1(2)	1(1)	1(12)			1(1)	4(16)
計	貸出	1(2)	1(1)					2(3)
	閲覧	13(252)	4(27)	10(44)	4(24)	11(96)	8(38)	50(481)

他に東京空襲貸出キット 9件貸出

()内は、貸出・閲覧資料の点数

立花大正民家園 旧小山家住宅

ア 目的

町家と都市近郊農家の両方の機能を合わせ持った 20 世紀初めの建築物であり、大正 12 (1923) 年の関東大震災、昭和 20 (1945) 年の東京大空襲の災害もまぬがれた住宅である。この歴史的な歩みに触れて感じることができる住宅を、未長く保存し活用していくため、平成 11 年 7 月 1 日に立花大正民家園として開園し、旧小山家住宅を広く一般に公開している。

なお、平成 13 年度からは管理運営をすみだ郷土文化資料館で行っている。

イ 旧小山家住宅のあらまし

所在地	墨田区立花六丁目 13 番 17 号 (電話 3611-4518)
住宅形式	平屋建寄棟造り瓦葺住宅
敷地面積	1356.46 m ² (約 411 坪)
延床面積	113.22 m ² (約 34 坪、管理人室は除く)
規模	間口 14.7m × 奥行 8.35m
建築年代	大正 6 (1917) 年
文化財	墨田区登録有形文化財 (建造物)「旧小山家住宅」(平成 11 年 2 月 16 日) 墨田区指定有形文化財 (平成 11 年 8 月 5 日)
植栽状況	常緑樹 17 種 158 本 (モッコク等) 落葉樹 3 種 10 本 (モミジ等)
建物所有	墨田区
調査	早稲田大学理工学部建築史研究室 (中川武教授) (平成 9 年 6 月と 9 月に調査)

ウ 旧小山家住宅の利用

「旧小山家住宅」は、住宅内見学者を優先とし、見学に支障のない範囲で、有料施設として貸出している。午後 0 時 30 分から午後 4 時 30 分の間、住宅内を無料で見学できる。

- (ア) 利用日 開園日 (年末年始を除く)
- (イ) 利用時間 午前 9 時 30 分 ~ 午後 9 時
- (ウ) 利用料 (1 棟) 1 回 3 時間 30 分以内の使用
- | | |
|---------------------|--------------------|
| 墨田区在住・在勤・在学者 | 1,100 円 |
| 上記以外 | 1,650 円 |
| 午前中 (9 時 30 分 ~ 正午) | 墨田区在住・在勤・在学者 770 円 |
| 上記以外 | 1,150 円 |
- (エ) 申請の受付 立花大正民家園・すみだ郷土文化資料館

(オ) 有料利用件数 (令和 4 年度実績)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	1	0	2	2	3	4	5	4	3	1	2	0	27

エ 庭園の利用

庭園は区立の公園として一般開放している。

- (ア) 開園時間 午前 9 時 ~ 午後 4 時 30 分
- (イ) 休園日 12 月 29 日 ~ 翌年 1 月 3 日
- ・立花大正民家園への来園者 (有料利用者を含む) (令和 4 年度実績)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	215	205	117	53	85	118	149	104	70	105	287	277	1,785

オ 催し物 (令和 4 年度)

旧小山家住宅の五月人形展	4 月 14 日 (木) ~ 5 月 10 日 (火)
旧小山家住宅の雛人形展	2 月 9 日 (木) ~ 3 月 7 日 (火)

6 その他

社会教育関係団体の育成

法人であるか否かを問わず、公の支配に属しない団体で、区内において学習、文化、スポーツ等の社会教育に関する事業を行うことを主たる目的として活動している「社会教育関係団体」(以下「団体」という。)を援助し、育成発展を図るため、昭和 52 年度から団体の登録制度を設けている。

(令和 5 年 4 月 1 日現在)(単位：団体)

分野	少年団体	一般団体	計
総合	19	29	48
文化	5	55	60
スポーツ	198	296	494
その他	4	27	31
合計	226	407	633

〔団体登録基準〕

ア 団体の組織及び運営が次のとおりであること。

- ・ 5人以上の会員で構成され、かつ、その半数以上が区内居住者、区内在学者又は区内在勤者であること。
- ・ 区内に主たる活動の場所及び事務所があること。
- ・ 団体意思を表明する代表者及び組織が確立し、会則(規約)があること。
- ・ 団体活動のための自己財源を有し、その経理が明らかであること。

イ 団体の活動目的が次に掲げる事項に該当しないこと。

- ・ 営利を目的とすること。
- ・ 特定の政党の利害に関すること。
- ・ 公の選挙に関し、特定の候補者を支持し、又は支持しない目的で政治活動を行うこと。
- ・ 特定の宗教、宗派、又は教団を支持し、又は支持しない目的で活動を行うこと。
- ・ その他教育委員会が不相当と認められる行為を行うこと。

〔団体登録の効果〕

区立小・中学校施設を使用する場合、使用料が減免される。

人権・同和教育

ア 人権啓発イベント

人権に関する課題について、正しい理解と認識を深め、差別意識の解消を図ることを目的として、昭和 52 年度から実施している。

イ 人権・同和教育活動

人権の尊重を基盤に、小・中学生、女性、青年の交流事業として、文化学習活動支援を昭和 52 年度から実施している。

IV 図 書 館

図書館

1 図書館の概要

図書館は、国民の教育と文化の発展に寄与することを目的として図書館法の定めるところにより、図書やその他の必要資料の収集・整理及び保存を行い、広く住民の利用に供するために設置されている社会教育施設である。

本区には、ひきふね図書館を中心館として、緑、立花及び八広の4つの区立図書館がある。この他に、東駒形、梅若橋及び横川コミュニティ会館に図書館規模の図書室が設けられているとともに、すみだ女性センターには情報資料コーナーが設置されており、各施設が連携して利用者に資料の提供を行っている。これら8施設における図書やCD・DVD等含む資料約90万点は、どの図書館・図書室からでも借りられ、また返却できる。

運営面では、平成14年4月から図書館及び図書室の窓口業務（カウンター業務）の一部を民間に委託するとともに、平日の開館時間を午後8時まで延長している。また、平成20年4月から全図書館を毎月第3木曜日の館内整理日及び年末年始の休日以外の日を開館日とし、利用者の利便を図った。平成25年4月に開館したひきふね図書館では、月曜日から土曜日までの開館時間を午後9時まで延長した。

また、平成29年度からは、緑・立花・八広の3図書館に指定管理者制度を導入し、指定管理者による管理運営を行っている。

事業面では、個人に対する図書等の資料貸出しや読書相談を中心に、学校等への団体貸出し、児童等に対するおはなし会等を実施している。

また、一般の資料を活用できないハンディキャップを持った方のために、マルチメディアデジター図書、拡大・点字図書の作成や対面朗読などのサービスを提供している。このように、墨田区立図書館の事業の多くは、ボランティアの協力のもと、実施している。

さらには、区として子どもの読書活動を推進するため、平成17年3月に「墨田区子ども読書活動推進計画」を策定し、その後5年毎に同計画を改定し、現在は、令和2年2月に改定した第4次計画に基づき、子どもの読書活動の推進に取り組んでいる。

また、区立図書館と学校図書館との連携を図るため、平成18年度から順次、区立小・中学校に学校図書館システムを導入し、平成23年度に区立全小・中学校への導入が完了した。このことにより、現在は学校に所蔵する図書の整備・データベース化及び図書館システムとの情報共有化が図られている。さらに、令和5年6月から電子書籍サービスを導入し、読書環境の充実を図っている。

2 施設の概況

所在地等

（令和5年4月1日現在）

ひきふね図書館	京島1-36-5 電話 5655-2350 平成25年4月1日開館 マークフロントタワー曳舟 地下1階から5階 3,393 m ² 座席数 235
緑図書館	緑2-24-5 電話 3631-4621 昭和32年12月17日開館、平成2年10月2日改築開館 鉄筋3階建延べ1,557 m ² 座席数 106
立花図書館	立花6-8-1-101 電話 3618-2620 昭和55年6月18日開館 都営住宅14階中1階部分 756 m ² 座席数 47
八広図書館	八広5-10-1-104 電話 3616-0846 昭和55年10月1日開館 都営住宅14階中1階部分 1,007 m ² 座席数 59 憩い・趣味・学習交流など幅広く利用できる多目的ルームがあり、午後8時(日曜日・祝日は午後5時)まで利用可能

開館時間・休館日等

図書館・図書室	開館時間	休館日
ひきふね図書館	月～土曜日（祝日を除く） 午前9時～午後9時* 日曜日・祝日 午前9時～午後5時	館内整理日* 年末年始 特別整理日*
緑図書館 立花図書館 八広図書館 女性センター情報資料コーナー	月～土曜日（祝日を除く） 午前9時～午後8時 日曜日・祝日 午前9時～午後5時	館内整理日 年末年始 特別整理日
東駒形・梅若橋・横川 コミュニティ会館図書室	月～土曜日（祝日を除く） 午前9時～午後8時 日曜日・祝日 午前9時～午後5時	館内整理日 年末年始 特別整理日

* 「こどもとしょしつ」は、午後6時まで

* 館内整理日は、毎月第3木曜日。ただし、その日が祝日に当たるときは、その翌日（全館共通）

* 特別整理日 年間10日以内

3 事業概要

墨田区図書館運営協議会

墨田区附属機関の設置に関する条例により設置した協議会で、有識者や教育関係者の専門的な見地や協治（ガバナンス）の推進の観点から区民の意見を取り入れ、透明性の確保及び図書館サービスの向上を図ることを目的としている。

墨田区図書館運営協議会委員名簿

（令和5年6月現在）

	氏名	現職等
学識経験者	日向 良和（会長）	都留文科大学教授
	今井 福司（副会長）	白百合女子大学准教授
墨田区立小・中学校長	松塚 智加子	墨田区立曳舟小学校長
	駒田 るみ子	墨田区立吾嬬第二中学校長
図書館ボランティア	藤山 光子	図書館ボランティア「おはなしの会つくしんぼ」
	齊藤 宮子	図書館ボランティア「点訳きつつき」
	原 平充	墨田区ひきふね図書館パートナーズ
	森脇 直之	墨田区ひきふね図書館パートナーズ
読書活動ボランティア	小川 政美	読み聞かせボランティア
	大津山 浩美	読み聞かせボランティア
区民委員	小島 光洋	公募区民
	牧野 雄二	公募区民

図書館の行事等

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集客の対面行事は規模を縮小して実施した。

ア おたのしみ会

未就学児、小学校低学年児童を対象に、図書から題材を選び、7月と12月に実施している。

(令和4年度実績)

事業数：9事業(春1回、夏4回、冬4回)

延べ参加者数：291人

イ あそび、工作の会

本を活用して、遊びや工作の仕方を知る実践の場として、季節の行事等を取り入れながら児童等を対象に行っている。

(令和4年度実績)

事業数：33事業(図書にまつわるクイズや、工作キットの配布等)

延べ参加者数：825人

ウ おはなし会

乳幼児から小学校低学年児童までを対象に、紙芝居や絵本の読み聞かせ、本の紹介等を全館で行っている。

(令和4年度実績)

おはなし会：188回

延べ参加者数：1,858人

エ 子ども読書活動推進に関する講演会の開催

保護者を対象に、子どもへの読み聞かせの大切さ、読書の大切さを伝える講演会を実施している。

(令和4年度実績)

事業数：2事業/4回(児童館での絵本講座の実施、児童読み聞かせボランティア講座の実施)

延べ参加者数：48人

オ ブックスタート

本所・向島保健センターで行われる3・4か月児健診時に、図書館職員が読み聞かせの大切さを保護者に伝えながら、絵本を配付している。

(令和4年度実績) 配付冊数：2,071冊

ボランティア育成活動

一般の資料を活用できないハンディキャップを持った方々に、個々の状況に合わせた資料の提供をしている。その場合、ボランティアの協力が不可欠であり、図書館では各種ボランティアの育成のための講座を開催した。また、読み聞かせに役立つパンフレットの発行・配布を行った。

令和4年度実績

講座名	日数(日)	延べ参加者数(人)
音訳講習会(初級)	8	137
音訳講習会(中級)	2	36
デイジー講習会	2	33
高齢者施設読み語り講習会	1	15
障害児施設読み聞かせ講習会	1	8
小学校読み聞かせボランティア講座(初級)	2	12
計	16	241

学校との連携

ア 学校図書館システムの導入

図書館と学校図書館の連携を図るため、区立全小・中学校に図書館システムを導入している。

イ 区立図書館による学校図書館支援

令和4年度は、区立全小学校に週3回、全中学校に週2回、学校司書を5時間派遣し、学校図書館の書架整理や選書等に関する助言を行い、児童・生徒が利用しやすい環境整備を行っている。

また、指導室と連携し、「図書館を使った調べる学習コンクール」への支援を行っている。

ウ 図書館案内・ブックリストの作成・配布

子どもが図書へ興味を持つように、図書館案内「としょかんへいこう」、図書の紹介を載せた「ほんはともだち」等のブックリストを、幼児・小学生（低・中・高）向けに作成している。

また、中学生・高校生等の10代が、図書へ興味を持つように、ティーンズ情報誌「10代のための本棚」を年4回発行し、区立中学生に配付するとともに、区立小学校、区内高等学校及び各施設へ送付している。

エ 団体貸出し

区立小・中学校の学級単位で学級文庫用・調べ学習用の団体貸出しを行っている。

（令和4年度実績）

図書館資料の団体貸出冊数

小学校（学級文庫用・調べ学習用）25,781冊

中学校（学級文庫用・調べ学習用）2,981冊

学校図書館支援事業の一層の強化を図るため、平成29年1月から小・中学校向けの団体貸出セット（1セット50冊程度）を作成し、貸出しを開始した。

令和4年度は、小学校向け学級文庫用24セット、調べ学習用11セット、中学校向け学級文庫用4セットを追加した。

小学生向け

・学級文庫用：147セット

・調べ学習用：29セット（8テーマ）

中学生向け

・学級文庫用：33セット（読み物：16セット 洋書、外国語の読み物：13セット

学習参考書：4セット）

・調べ学習用：9セット（7テーマ）

オ 図書館見学

より多くの子どもたちに図書館の使い方を知り、利用してもらうため、希望する児童（個人・団体）に対して、図書館見学又は案内を実施している。

令和4年度実績

小学校 5校（7回）

中学校 1校（1回）

カ 体験学習

子ども図書館員（小学生）を募集し、図書館の仕事を体験する場を提供している。また、「総合的な学習の時間」における学習活動の一環として、中学生等の職場体験の受入れを行っている。

図書館員体験（小学生） 3回（10人）

職場体験（中学生） 1校（7人）

（高校生） 1校（4人）

4 図書館の利用状況

資料数現況

図書館

(令和5年4月1日現在)(単位:点)

区分	分類	ひきふね	緑	立花	八広		小計	
図書資料	総記	12,422	2,963	1,751	1,142		18,278	
	哲学・宗教	11,538	3,686	1,161	1,251		17,636	
	歴史・地理	30,692	11,480	3,728	9,356		55,256	
	社会科学	48,067	14,085	5,417	5,404		72,973	
	自然科学	20,975	8,403	4,350	4,337		38,065	
	工学・家事	21,879	9,186	4,752	4,639		40,456	
	産業	9,856	3,077	1,706	1,943		16,582	
	芸術・体育	29,918	12,330	5,788	6,382		54,418	
	語学	7,187	2,604	1,101	911		11,803	
	文学	120,383	37,352	21,098	19,932		198,765	
	その他	1,701	10	10	15		1,736	
	小計	314,618	105,176	50,862	55,312		525,968	
	児童図書	児童図書	(44,566)	(21,828)	(17,007)	(13,745)		(97,146)
		絵本等	28,807	11,149	8,569	7,110		55,635
	小計	73,373	32,977	25,576	20,855		152,781	
	計	343,425	116,325	59,431	62,422		581,603	
	雑誌	26,902	5,758	2,709	2,889		38,258	
	C D	5,330	4,845	2,542	2,714		15,431	
	D V D	1,464	803	373	343		2,983	
	H S 録音図書	557	0	0	0		557	
	計	7,351	5,648	2,915	3,057		18,971	
	総計	377,678	127,731	65,055	68,368		638,832	

コミュニティ会館等

区分	分類	東駒形	梅若橋	横川	小計	女性センター	総計	
図書資料	総記	1,620	1,509	1,843	4,972	185	23,435	
	哲学・宗教	2,281	1,605	2,905	6,791	241	24,668	
	歴史・地理	6,681	4,805	6,279	17,765	476	73,497	
	社会科学	8,979	6,067	9,209	24,255	2,864	100,092	
	自然科学	5,508	4,867	6,633	17,008	333	55,406	
	工学・家事	5,994	4,965	6,280	17,239	335	58,030	
	産業	1,963	2,065	2,198	6,226	70	22,878	
	芸術・体育	7,487	6,568	8,619	22,674	403	77,495	
	語学	1,315	1,139	1,645	4,099	77	15,979	
	文学	25,449	19,980	33,349	78,778	1,817	279,360	
	その他	12	14	10	36	3	1,775	
	小計	67,289	53,584	78,970	199,843	6,804	732,615	
	児童図書	児童図書	(13,607)	(11,690)	(15,973)	(41,270)	(419)	(138,835)
		絵本等	8,081	6,700	9,635	24,416	372	80,423
	小計	21,688	18,390	25,608	65,686	791	219,258	
	計	75,370	60,284	88,605	224,259	7,176	813,038	
	雑誌	2,369	2,800	2,935	8,104	474	46,836	
	C D	2,024	2,440	2,103	6,567	3	22,001	
	D V D	348	285	336	969	1	3,953	
	H S 録音図書	0	0	0	0	0	557	
	計	2,372	2,725	2,439	7,536	4	26,511	
	総計	80,111	65,809	93,979	239,899	7,654	886,385	

()内の数は、各分類別に含まれている。

定期刊行物購入状況

図書館 (令和4年度) (単位:種)

区分	ひきふね	緑	立花	八広	小計
雑誌	334	171	100	101	706
新聞	32	24	10	8	74
新聞縮刷版	4	1	0	0	5

コミュニティ会館等

区分	東駒形	梅若橋	横川	小計	女性センター	総計
雑誌	92	105	101	298	8	306
新聞	10	8	8	26	8	34
新聞縮刷版	0	0	0	0	0	0

資料数増減

図書館

(令和4年度) (単位:点)

館名等 区分		受入数					除籍数				
		ひきふね	緑	立花	八広	小計	ひきふね	緑	立花	八広	小計
図書資料	総数	15,036	5,889	3,197	3,433	27,555	9,342	6,234	3,415	4,534	23,525
	(内児童)	4,582	1,399	949	958	7,888	3,421	816	969	1,223	6,429
	(内郷土行政)	546	137	72	66	821	92	50	38	48	228
	(内外国語)	160	1	9	0	170	14	49	0	0	63
雑誌		4,685	2,295	1,314	1,319	9,613	4,543	2,396	1,410	1,396	9,745
視聴覚資料		262	14	49	56	381	399	546	65	48	1,058

コミュニティ会館等

館名等 区分		受入数					除籍数					受入総数	除籍総数
		東駒形	梅若橋	横川	小計	女性センター	東駒形	梅若橋	横川	小計	女性センター		
図書資料	総数	2,528	1,913	3,168	7,609	147	910	1,518	3,063	5,491	408	35,311	29,424
	(内児童)	810	610	656	2,076	22	212	225	342	779	78	9,986	7,286
	(内郷土行政)	45	26	41	112	0	1	58	27	86	0	933	314
	(内外国語)	0	0	3	3	1	0	0	1	1	0	174	64
雑誌		1,319	1,403	1,198	3,920	91	1,397	1,487	1,284	4,168	77	13,624	13,990
視聴覚資料		157	121	120	398	0	23	10	16	49	0	779	1,107

受入には、寄贈等を含む。

図書館年度別個人利用統計

(単位：貸出者数 = 延べ人数 貸出点数 = 点)

			元年度	2年度	3年度	平均	4年度
図書館	ひきふね	貸出者数	250,950	218,888	266,723	245,520	265,051
		貸出点数	647,614	579,388	693,999	640,334	666,571
		1回当たり貸出点数	2.6	2.6	2.6	2.6	2.5
	緑	貸出者数	178,311	136,497	199,218	171,342	207,518
		貸出点数	461,533	337,646	504,011	434,397	510,261
		1回当たり貸出点数	2.6	2.5	2.5	2.5	2.5
	立花	貸出者数	51,181	45,561	56,248	50,997	57,004
		貸出点数	143,484	124,565	148,167	138,739	147,153
		1回当たり貸出点数	2.8	2.7	2.6	2.7	2.6
	八広	貸出者数	49,637	44,198	53,865	49,233	54,296
		貸出点数	131,293	117,225	140,177	129,565	138,801
		1回当たり貸出点数	2.6	2.7	2.6	2.6	2.6
	小計	貸出者数	530,079	445,144	576,054	517,092	583,869
		貸出点数	1,383,924	1,158,824	1,486,354	1,343,034	1,462,786
		1回当たり貸出点数	2.6	2.6	2.6	2.6	2.5
コミュニティ会館等	東駒形	貸出者数	65,467	72,664	82,759	73,630	80,672
		貸出点数	168,874	184,334	204,778	185,995	199,057
		1回当たり貸出点数	2.6	2.5	2.5	2.5	2.5
	梅若橋	貸出者数	35,623	32,266	39,861	35,917	39,330
		貸出点数	95,048	85,270	101,142	93,820	98,561
		1回当たり貸出点数	2.7	2.6	2.5	2.6	2.5
	横川	貸出者数	76,798	69,154	84,849	76,934	85,183
		貸出点数	196,386	179,396	212,637	196,140	209,343
		1回当たり貸出点数	2.6	2.6	2.5	2.5	2.5
	小計	貸出者数	177,888	174,084	207,469	186,480	205,185
		貸出点数	460,308	449,000	518,557	475,955	506,961
		1回当たり貸出点数	2.6	2.6	2.5	2.6	2.5
	女性センター	貸出者数	2,405	1,769	7,137	3,770	9,959
		貸出点数	5,598	3,668	13,799	7,688	18,725
		1回当たり貸出点数	2.3	2.1	1.9	2.0	1.9
総計	貸出者数	710,372	620,997	790,660	707,343	799,013	
	貸出点数	1,849,830	1,611,492	2,018,710	1,826,677	1,988,472	
	1回当たり貸出点数	2.6	2.6	2.6	2.6	2.5	

利用状況

図書館

(令和4年度)

区分		単位	ひきふね	緑	立花	八広	小計
個人登録者数	70歳以上	人	3,847	1,994	627	1,020	7,488
	60歳～69歳		3,352	1,747	335	461	5,895
	50歳～59歳		5,855	3,070	480	645	10,050
	40歳～49歳		7,999	4,424	802	823	14,048
	30歳～39歳		10,086	4,921	599	493	16,099
	23歳～29歳		6,480	2,289	285	312	9,366
	19歳～22歳		2,728	690	181	242	3,841
	16歳～18歳		1,819	644	211	226	2,900
	13歳～15歳		1,691	954	341	302	3,288
	7歳～12歳		2,837	1,538	597	470	5,442
	0歳～6歳		889	544	202	103	1,738
計		47,583	22,815	4,660	5,097	80,155	
個人貸出点数	一般図書	点	373,942	263,608	67,812	73,496	778,858
	児童図書		225,705	193,600	60,090	42,993	522,388
	視聴覚資料		36,695	29,421	9,904	12,436	88,456
	雑誌		30,229	23,632	9,347	9,876	73,084
	計		666,571	510,261	147,153	138,801	1,462,786
団体	登録数	団体	1,032	207	36	94	1,369
	貸出点数	点	37,514	5,860	1,676	2,716	47,766
予約・リクエスト	受付件数	件	238,206	207,190	55,360	45,486	546,242
	処理件数		200,036	175,532	48,225	39,897	463,690
レファレンス件数	件	103	30	7	5	145	
利用者複写枚数	枚	33,253	22,386	4,454	6,235	66,328	
催し物	回数	回	87	57	69	86	299
	参加者数	人	1,740	1,035	790	1,784	5,349
	ボランティア数		84	2	0	17	103
相互貸借	貸出点数	点	3,976	1,083	444	450	5,953
	借受点数		2,432	1,590	475	633	5,130

コミュニティ会館等

区分		単位	東駒形	梅若橋	横川	小計	女性センター	総計
個人登録者数	70歳以上	人	783	747	560	2,090	63	9,641
	60歳～69歳		468	419	486	1,373	32	7,300
	50歳～59歳		727	519	884	2,130	62	12,242
	40歳～49歳		1,132	596	1,311	3,039	100	17,187
	30歳～39歳		890	328	1,154	2,372	85	18,556
	23歳～29歳		357	198	547	1,102	27	10,495
	19歳～22歳		184	193	260	637	7	4,485
	16歳～18歳		213	178	284	675	4	3,579
	13歳～15歳		302	251	401	954	4	4,246
	7歳～12歳		605	287	703	1,595	5	7,042
	0歳～6歳		175	51	237	463	7	2,208
計		5,836	3,767	6,827	16,430	396	96,981	
個人貸出点数	一般図書	点	95,345	53,685	112,385	261,415	10,560	1,050,833
	児童図書		85,079	25,373	78,506	188,958	6,866	718,212
	視聴覚資料		9,988	9,328	8,801	28,117	487	117,060
	雑誌		8,645	10,175	9,651	28,471	812	102,367
	計		199,057	98,561	209,343	506,961	18,725	1,988,472
団体	登録数	団体	62	37	41	140	0	1,509
	貸出点数	点	1,505	1,536	1,376	4,417	0	52,183
予約・リクエスト	受付件数	件	85,573	34,064	91,845	211,482	14,235	771,959
	処理件数		75,001	29,142	77,495	181,638	12,243	657,571
レファレンス件数	件	13	8	39	60	0	205	
利用者複写枚数	枚	2,278	2,762	6,523	11,563	-	77,891	
催し物	回数	回	31	7	55	93	-	392
	参加者数	人	323	232	2,520	3,075	-	8,424
	ボランティア数		0	0	0	0	-	103
相互貸借	貸出点数	点	503	410	568	1,481	-	7,434
	借受点数		813	369	1,175	2,357	-	7,487

障害者事業概要

(利用統計)

(令和4年度)

区分/館名		単位	ひきふね	緑	立花	八広	横川	合計	
個人登録者数	23歳以上	人	112	35	50	8	8	213	
	16歳 - 22歳		6	0	0	0	0	6	
	13歳 - 15歳		2	0	0	0	1	3	
	7歳 - 12歳		1	0	0	0	0	1	
	0歳 - 6歳		0	0	0	0	0	0	
	計		121	35	50	8	9	223	
団体登録数		団体	10	4	0	4	0	18	
個人貸出点数	録音図書	テープ	0	0	0	0	0	0	
		デジター	936	2	0	139	0	1,077	
	録音雑誌	テープ	0	0	0	0	0	0	
		デジター	682	0	0	20	0	702	
	市販CT・CD		点	178	334	200	4	21	737
	点字図書			210	173	0	9	0	392
	拡大写本			253	0	0	1	0	254
	大活字本			9	0	149	0	0	158
	一般図書			1,212	176	633	18	333	2,372
	その他			6	0	0	33	0	39
	合計			3,486	685	982	224	354	5,731
団体貸出点数		点		1,789	0	0	580	0	2,369
個人貸出者数() (延)		人		1,418	159	241	124	49	1,991
個人貸出者数() (実数)		人		136	14	33	5	3	191
予約・リクエスト	受付件数	件		1,173	23	0	0	217	1,413
	処理件数		1,173	39	0	0	305	1,517	
相互貸借	貸出数	テープ	0	0	0	0	0	0	
		デジター	1,848	0	0	0	0	1,848	
		点字(図書・データ)	0	0	0	0	0	0	
	借受数	テープ	0	0	0	0	0	0	
		デジター	1,092	1	0	0	0	1,093	
		点字(図書・データ)	0	162	0	0	0	162	
点訳(制作枚数)		枚	1,791	0	0	0	0	1,791	
拡大写本(制作枚数)		枚	0	0	0	0	0	0	
テープ・デジター雑誌製作数		点	161	0	0	0	0	161	
宅配	個人(延べ)	人	169	32	0	124	27	352	
	施設(延べ)	施設	224	126	257	0	0	607	
	利用者数(実数)	人	59	14	53	5	1	132	
郵送	利用者数(延べ)	人	2,960	0	0	0	0	2,960	
	利用者数(実数)		48	0	0	0	0	48	
対面朗読	利用者数(延べ)	人	281	50	0	32	0	363	
	利用者数(実数)		29	1	0	1	0	31	
	利用時間	時間	497	28	0	33	0	558	
	ボランティア数(延べ)	人	474	0	0	0	0	474	
	ボランティア数(実数)		50	0	0	0	0	50	
施設訪問	訪問数		件	23	13	31	0	0	67
	個人貸出	利用者数	人	224	126	257	0	0	607
		市販CT・CD	点	342	323	200	0	0	865
		拡大写本		0	0	0	0	0	0
		大活字本		6	0	149	0	0	155
		一般図書		539	179	633	0	0	1,351
		その他		6	0	0	0	0	6
		回数		回	1	1	0	4	0
	催し物	参加人数		人	6	3	0	8	0
		ボランティア数	2		2	0	0	0	4

(現在数)

(令和5年3月31日現在)

館名等		単位	ひきふね	緑	立花	八広	横川	合計
区分								
録音図書	タイトル・冊数	点	877	3	0	0	1	881
点字図書	タイトル数	点	71	33	0	0	0	104
	冊数	冊	160	140	0	0	0	300
拡大写本	タイトル数	点	1,059	0	0	29	0	1,088
	冊数	冊	5,094	0	0	164	0	5,258
合計	タイトル数	点	2,007	36	0	29	1	2,073
	冊数	冊	6,131	143	0	164	1	6,439

図書館指標

(単位：%)

項目		年度	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4
図書保障率	(区民1人当たり)	$\frac{\text{年間購入冊数}}{\text{人口}}$	0.11 (0.16)	0.11 (0.15)	0.11 (0.16)	0.12 (0.17)	0.13 (0.17)	0.14 (0.18)	0.13 (0.17)	0.13 (0.17)	0.12 (0.16)	0.11 (0.15)
	(区民1人当たり)	$\frac{\text{年間購入金額}}{\text{人口}}$	181 (243)	178 (243)	186 (250)	205 (271)	218 (281)	221 (284)	209 (268)	216 (278)	215 (274)	209 (269)
	(区民1人当たり)	$\frac{\text{蔵書冊数}}{\text{人口}}$	1.99 (3.03)	2.04 (3.03)	2.09 (3.07)	2.00 (2.96)	2.03 (2.97)	2.07 (2.98)	2.04 (2.92)	2.01 (2.89)	2.07 (2.92)	2.06 (2.88)
借入申込者率(登録率)		$\frac{\text{借入申込者数}}{\text{人口}} \times 100$	28.35 (36.08)	28.85 (36.35)	29.34 (36.52)	28.73 (35.51)	29.21 (35.81)	28.78 (35.21)	28.71 (35.00)	28.22 (34.40)	27.94 (33.97)	28.42 (34.38)
区民1人当たり平均貸出数		$\frac{\text{館外貸出点数}}{\text{人口}}$	5.07 (6.95)	5.07 (6.83)	5.43 (6.90)	4.66 (6.54)	5.11 (6.89)	5.23 (7.00)	5.02 (6.71)	4.20 (5.84)	5.37 (7.29)	5.19 (7.05)
蔵書回転率		$\frac{\text{館外貸出点数}}{\text{所蔵点数}}$	2.29 (2.09)	2.25 (2.06)	2.35 (2.05)	2.11 (2.02)	2.28 (2.12)	2.30 (2.15)	2.24 (2.11)	1.90 (1.85)	2.35 (2.29)	2.29 (2.24)

()内は東駒形・梅若橋・横川コミュニティ会館図書室及び女性センター情報資料コーナーを含む。

人口は令和5年4月1日現在、282,085人

は、雑誌を含む。 は、雑誌を除く。 は、団体貸出を除く。

多目的ルーム利用状況(八広図書館)

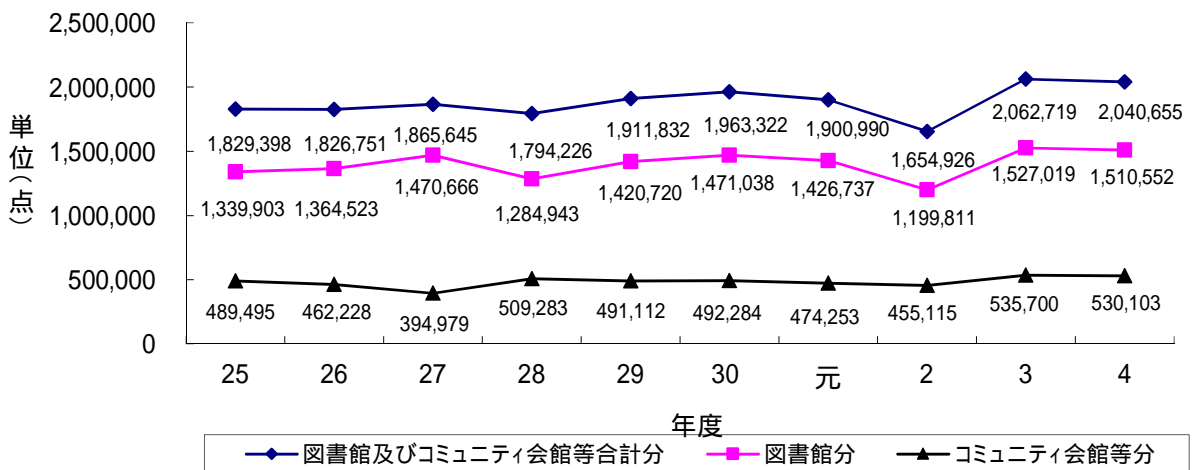
(令和4年度)(単位：人)

	和室	洋室(板の間)	ホール	計
(延べ団体数)	(59)	(336)	(403)	(798)
延べ利用人数	460	1,260	4,163	5,883

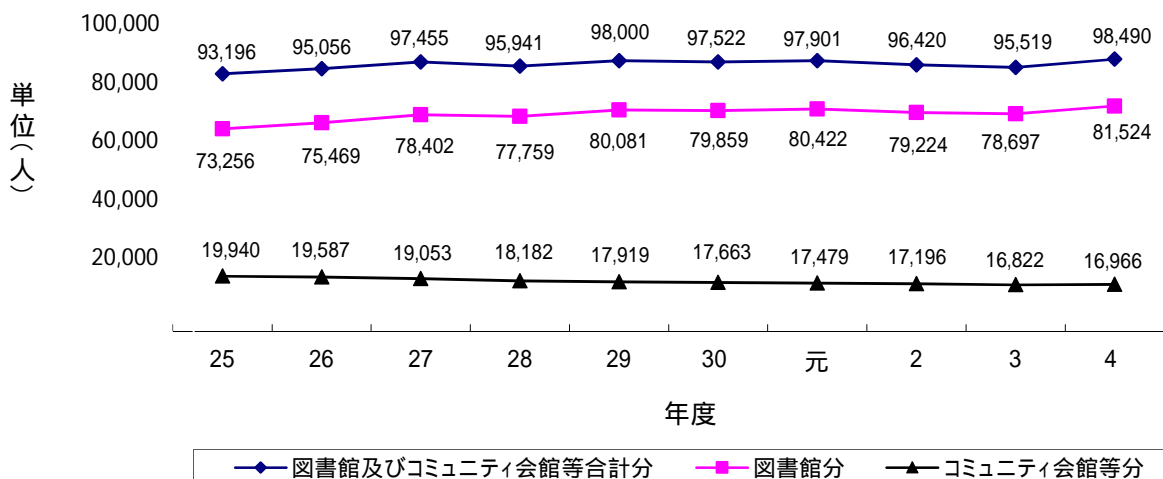
和室・ホールについて、12/19~3/27までの平日午後および夜間は、八広はなみずき児童館第二学童クラブ使用のため利用不可

区立図書館、コミュニティ会館、女性センター利用状況及び図書購入費推移

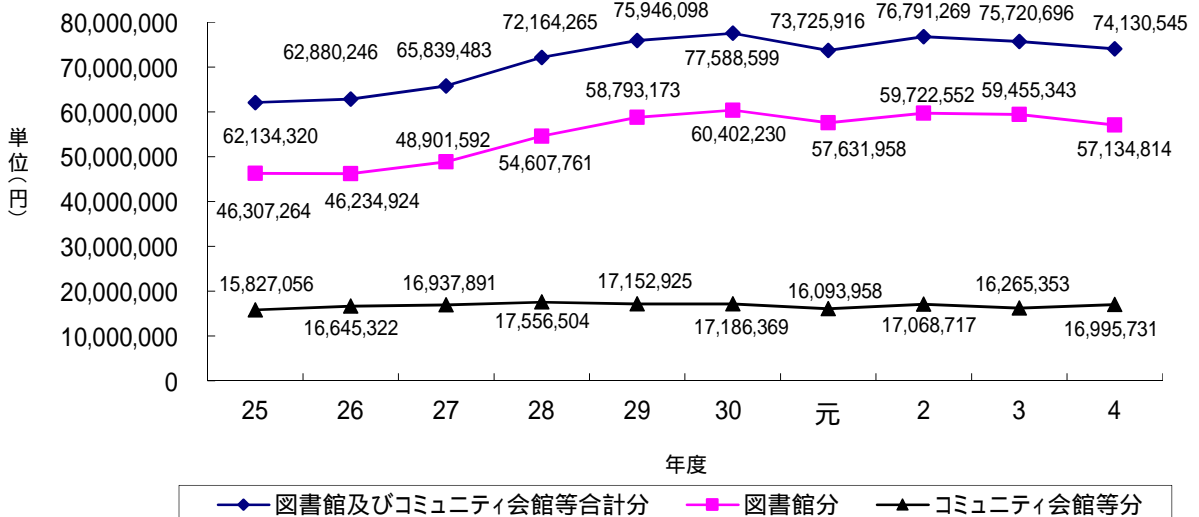
ア 貸出点数(団体貸出を含む。)



イ 登録者数(団体登録を含む。)



ウ 資料購入費(図書・雑誌)



V 墨田区教育経緯

墨田区教育経緯

年	できごと	備考
昭和 22 年	・ 墨田・本所・両国・豎川・吾孀第一・吾孀第二・鐘淵中学校開校（5月）	教育基本法公布 学習指導要領（試案）
昭和 23 年		教育委員会法施行 盲・聾学校義務教育化の学年進行開始
昭和 24 年	・ 向島中学校開校（4月）	
昭和 25 年	・ 寺島中学校開校（4月） ・ 小学校給食開始（9月）	
昭和 26 年	・ 小学校校長会特殊教育研究部会答申。墨田プラン作成。 ・ 墨田区教育委員会設置 ・ 中川小学校開校（5月）	
昭和 27 年	・ 寺島図書館開館（1月）	
昭和 28 年	・ 緑・外手小学校特殊学級設置（5月） ・ 第二寺島・第三寺島小学校特殊学級設置（6月） ・ 第三回特殊教育全国協議会（京都大会）ですみだプラン発表（11月）	
昭和 29 年	・ 錦糸中学校開校（4月） ・ 本所・吾孀第一中学校特殊学級設置（4月） ・ 学校開放開始	教育二法公布（教育公務員特例法一部改正法、義務教育諸学校における教育の政治的中立の確保に関する臨時措置法） 盲学校・聾学校及び養護学校への就学奨励に関する法律公布 学校給食法公布
昭和 30 年	・ 教育相談室発足（1月） ・ 墨田区青少年問題協議会設置（3月） ・ 豎川・寺島中学校特殊学級設置（4月） ・ 墨田区青少年問題協議会に向島補導連絡会設置（11月） ・ 同協議会に本所補導連絡会設置（12月）	
昭和 31 年	・ 東吾孀小学校開校（6月）	新教育委員会法施行（地方教育行政の組織及び運営に関する法律） 盲・聾学校の義務教育化完了（学年進行終了）
昭和 32 年	・ 緑図書館開館（12月）	
昭和 33 年	・ 業平小学校特殊学級設置（4月）	
昭和 36 年	・ 墨田区青少年問題協議会で地区委員会の設置基準及び会則案を策定（5月） ・ 中学校通学区域単位に地区委員会を組織（6月～7月）	
昭和 37 年	・ あずま図書館開館（9月）	義務教育諸学校の教科用図書は無償に関する法律公布
昭和 39 年	・ すみだ教室開設	
昭和 42 年	・ 墨田区体育館開館（3月） ・ 中学校給食開始（4月） ・ 墨田区遊び場対策本部設置（8月）	都営文花団地完成（4月）
昭和 44 年	・ 緑・第三寺島稚園開園（区初）（4月）	

年	できごと	備考
昭和 45 年	・ 榛名高原学園開園（ 5 月）	
昭和 46 年	・ 柳島・八広幼稚園開園（ 4 月）	
昭和 48 年	・ 菊川・曳舟幼稚園開園（ 4 月）	養護学校義務教育化政令公布
昭和 49 年	・ 弓道場開館（ 4 月） ・ 屋内プール体育館開館（ 7 月）	
昭和 50 年	・ 立花幼稚園開園（ 4 月）	
昭和 51 年	・ 墨田区青少年問題協議会「墨田区における地区委員会の望ましいあり方について」答申（ 11 月）	立花団地完成（ 3 月）
昭和 52 年	・ 墨田区青少年問題協議会・地区委員会から地域の自主組織・地区青少年育成委員会に変更（ 4 月） ・ 文化財調査開始（ 4 月）	
昭和 53 年	・ あわの自然学園開園（ 5 月） ・ 栄養士全校配置	
昭和 54 年	・ 屋外体育施設管理事務所設置（ 8 月）	養護学校義務教育化開始
昭和 55 年	・ 立花図書館開館（ 6 月） ・ 八広図書館開館（ 10 月）	
昭和 56 年	・ 学童災害共済制度開始（ 4 月） ・ 墨田区障害者（児）スポーツ・レクリエーション大会開催（ 10 月）	
昭和 57 年	・ 堤小学校開校（ 4 月） ・ 文化財保護条例制定	
昭和 59 年	・ 立花中学校（ 4 月）	すみだ健康区宣言
昭和 60 年	・ 外国人講師中学校導入（ 4 月） ・ 荒川緑地フィールドハウス設置（ 4 月） ・ すみだ少年少女合唱団結成（ 6 月）	
昭和 61 年	・ パソコンルーム設置開始 ・ 南部教育相談室（両国小内）設置 ・ 北部教育相談室（第三寺島小内）設置 ・ 生活指導・進路指導相談室（文花小内）設置 ・ 夏休み自然体験教室（山形県高畠町訪問） ・ あずま図書館移転（ 4 月）	
昭和 62 年	・ わんぱく天国開設（ 4 月） ・ ふるさとわんぱく村（山形県鶴岡市朝日地域訪問） ・ 図書館オンラインシステム導入	
昭和 63 年	・ わんぱく交流インすみだ（山形県鶴岡市朝日地域受入）	
平成元年	・ 学校給食改善推進事業開始（中学校から着手） ・ すみだツアー（旧都会生活体験教室）（山形県高畠町受入れ）開始	
平成 2 年	・ 思いやり教育検討委員会「ステップ学級」設置提言 ・ 緑図書館移転（ 10 月）	
平成 3 年	・ ステップ学級開設（吾妻橋二丁目三番地）	
平成 4 年	・ すみだセミナーハウス開設（ 5 月） ・ 墨田区立学校適正規模等審議会設置（ 9 月）	
平成 5 年	・ 墨田区生涯学習推進計画策定（ 1 月） ・ 中川幼稚園廃園（ 3 月末） ・ 墨田区立学校適正規模等審議会中間答申（ 9 月）	

年	できごと	備考
平成 6 年	<ul style="list-style-type: none"> すみだ生涯学習センター開館（12月） 南部・北部教育相談室を生涯学習センター内に移管し「墨田区教育相談室」として開設 生涯学習学校公開講座開始（6月） 	こども区議会開催
平成 7 年	<ul style="list-style-type: none"> 生活指導・進路相談室第三寺島小に移動 墨田区立学校適正規模等審議会答申（8月） ステップ学級分室開設（文花小内） 	
平成 8 年	<ul style="list-style-type: none"> いじめ相談室を生活指導相談室（第三寺島小内）に併設 ステップ学級を大横川親水公園管理事務所2階へ移設 	
平成 9 年	<ul style="list-style-type: none"> 墨田区立学校適正配置実施計画（11月） 連合音楽会開始（トリフォニーホール） ステップ学級分室の休止（学校施設に抵抗有り） 	
平成 10 年	<ul style="list-style-type: none"> すみだ郷土文化資料館開館（4月） ステップ学級分室の廃止 	小・中指導要領改訂（14年実施）
平成 11 年	<ul style="list-style-type: none"> 押上小学校（第二吾嬬・西吾嬬・文花小学校統合）開校（4月） 押上小学校言語障害学級設置（4月） 文花中学校（吾嬬第三・曳舟中学校統合）開校（4月） 立花大正民家園開館（7月） 両国中学校屋内運動場・両国屋内プール開館（8月） 青少年問題協議会専門委員会報告書「墨田区に家庭の教育機能を支え補うシステムを」 	
平成 12 年 2000 年	<ul style="list-style-type: none"> 心身障害教育基本方針を教育委員会で決定（3月） 第三寺島小学校情緒障害学級設置（4月） スポーツプラザ梅若開館（4月） 教育方針（すみだ教育指針）策定（8月） 中学校連合陸上競技大会夢の島陸上競技場で開始（9月） 外国人講師小学校に導入開始 NPO 法人「すみだ学習ガーデン」発足（12月） 	
平成 13 年	<ul style="list-style-type: none"> 健康学園廃止（3月末） 第2次墨田区生涯学習推進計画（墨田区まなびプラン）策定（3月） 日本語通級指導教室（堤小学校）設置（4月） 小学校・中学校教科書採択（8月） 学校運営協議会全小中学校設置 小・中野外体験活動試行（小学校5・6年生、中学校1年生） 中学校スクールカウンセラー設置開始（都制度） 中学校選択制（14年度入学）開始 パソコンルーム設置完了 	
平成 14 年	<ul style="list-style-type: none"> 完全学校週五日制の実施（4月） 図書館開館時間延長（4月） 地域体験活動支援事業開始（4月） 小・中野外体験活動開始 小学校選択制（15年度入学）開始 学校運営協議会による外部評価を導入 小学校スクールカウンセラー設置開始（区制度） 	

年	できごと	備考
平成 15 年	<ul style="list-style-type: none"> 区立学校二学期制導入（4月） 八広小学校（第五吾嬬・更正・木下川小学校統合）開校（4月） 榛名高原学園廃止（10月末） 中学校スクールカウンセラー全校設置（都制度） すみだ創生塾開始 	
平成 16 年	<ul style="list-style-type: none"> 小学生に防犯ブザー貸与（4月） 吾嬬第一中学校情緒障害学級設置（4月） 第一寺島小学校知的障害固定学級設置（4月） 墨田区立学校適正配置等審議会設置（8月） 小学校教科書採択（8月） ブックスタート事業開始（8月） 開発的学力向上プロジェクト実施 中学校2年生の移動教室（南会津町、飯山市、魚沼市）開始 学校給食改善推進事業全校実施 全小中学校にさすまた配備 生活指導・進路・いじめ相談室（第三寺島小内）をすみだスクールサポートセンターに名称変更 	
平成 17 年	<ul style="list-style-type: none"> 墨田区子ども読書活動推進計画策定（3月） 隅田小学校（隅田・隅田第二小学校統合）開校（4月） 錦糸小学校情緒障害通級学級設置（4月） 警察官による学校立ち寄り開始（5月） 中学校教科書採択（8月） 墨田区立学校適正配置等審議会中間答申（11月） 図書館でインターネットによる予約サービス開始（12月） 学力向上「新すみだプラン」開始 土曜補習教室の開始（全小・中学校） 	墨田区基本構想策定(11月)
平成 18 年	<ul style="list-style-type: none"> 墨田区立学校適正配置等審議会答申（2月） 携帯電話による情報発信システム（8月） 学校図書館連携システム導入開始（9月） 墨田区立学校適正配置第一吾嬬小学校・立花小学校統合実施計画策定（12月） 幼小中一貫教育推進事業開始 墨田区まなびプラン改定 	「早寝早起き朝ごはん」全国協議会発足（4月） 幼児教育振興アクションプログラム（10月） 教育基本法改正（12月） 墨田区基本計画策定(12月)
平成 19 年	<ul style="list-style-type: none"> 柳島小学校言語障害学級設置（4月） スクールサポートセンター内にいじめ安心サポート室・教育相談室開設（4月） すみだ地域学セミナー開始（5月） 緑小放課後みどりっ子（放課後子ども教室）開設（9月） すみだ教育指針策定（12月） 小学校スクールカウンセラー全校設置（区制度） 墨田区帰国・外国人等児童・生徒学習支援教室設置(錦糸小学校) AED 中学校配置 	学校教育法改正（特別支援教育）(4月) 墨田区食育推進計画策定
平成 20 年	<ul style="list-style-type: none"> 「新たな墨田区立学校適正配置等実施計画」策定（3月） 立花吾嬬の森小学校（第一吾嬬・立花小学校統合）開校（4月） 親子料理教室（8月） 第三吾嬬いきいきスクール（放課後子ども教室）開設（9月） 統合新図書館基本設計完了（12月） AED 小学校配置 緑・寺島・立花・八広図書館月曜開館開始 	小・中指導要領改訂（小23年度実施、中24年度実施）

年	できごと	備考
平成 21 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校すたーとブック作成（3月） ・ 墨田区学校 ICT 化推進計画策定（3月） ・ 統合新図書館実施設計完了（3月） ・ 個人学習プロフィール導入（4月） ・ 学校支援ネットワーク本部設置・中学校開始（4月） ・ 隅田小特別支援学級（知的障害固定）設置（4月） ・ 幼稚園新教育要領の全面实施（4月） ・ いじめ安心サポート室・教育相談室を廃止し、事業はすみだスクールサポートセンターで継続 	
平成 22 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 墨田区学校 ICT 仮稼働（1月）電子黒板導入 ・ 地上波デジタルTV小中学校設置 ・ 墨田区体育館、屋内プール体育館閉館（3月） ・ 墨田区総合体育館開館（3月） ・ 墨田区子ども読書活動推進計画（第2次）策定（3月） ・ 墨田区学校 ICT 本格稼働（4月） ・ 小学校用英語教材導入（4月） ・ 放課後学習クラブ事業開始（4月） ・ 中川小学校情緒障害通級学級開設（4月） ・ 学校支援ネットワーク小学校開始（4月） ・ 学校給食改善推進事業を学校給食改善事業に予算名称変更（4月） ・ 二葉小学校に栄養教諭1名配置（4月） ・ 食育推進交付金事業開始（4月） ・ 小学校教科書採択（8月） ・ 学校運営協議会から学校運営連絡会に名称変更 	
平成 23 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東日本大震災避難所小学校に設置（3月11日） ・ 東日本大震災被災者受入施設設置・セミナーハウス、旧曳舟中、あわの自然学園（3月22日～） ・ セミナーハウス廃止（3月） ・ 梅若小学校（梅若小学校・堤小学校統合）開校（4月） ・ 梅若小学校情緒障害等通級指導学級設置（4月） ・ 土曜補習教室を放課後学習クラブに統合（4月） ・ 錦糸公園野球場使用開始（4月） ・ 小学校新学習指導要領開始（4月） ・ 土曜授業開始・第3土曜標準（4月） ・ 小学校新学習指導要領の全面实施（4月） ・ 立花体育館開館（5月） ・ 中学校教科書採択（8月） ・ 第3次墨田区生涯学習推進計画（墨田区まなびプラン）策定（12月） ・ 放課後子ども教室開始 言問小（4月） 錦糸小、二葉小、第四吾嬬小（6月） 中和小（7月） 両国小、立花吾嬬の森小（9月） 外手小、曳舟小（10月） ・ 学校図書館連携システム全校導入完了 	東日本大震災（3月11日）

年	できごと	備考
平成 24 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 墨田区統合新図書館運営方針策定（1月） ・ 幼小中一貫教育推進計画策定（2月） ・ すみだ教育指針改定（3月） ・ 中学校新学習指導要領の全面实施（4月） ・ 中和小学校と墨田中学校に特別支援学級（知的障害固定）設置（4月） ・ ステップ学級を吾妻橋三丁目 18 番 12 号に移設（4月） ・ 墨田区図書館運営協議会設置（5月） ・ 区立小中学生による東京スカイツリー内覧会を実施（5月3日、4日） ・ 東京地域で 173 年ぶりとなる金環日食の観察会を各小中学校で実施（5月21日） ・ 放課後子ども教室開始 中川小（5月）、菊川小（6月）、第一寺島小（9月）、柳島小（11月） ・ 通学路緊急合同点検（8・9月） ・ いじめに関する有識者会議設置（10月） 	東京スカイツリー開業（5月22日）
平成 25 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 墨田区学力向上3か年計画策定（3月） ・ あずま図書館、寺島図書館閉館（3月） ・ すみだ生涯学習センターのプラネタリウム館廃止（3月末） ・ 教育委員会活性化対応（4月） ・ 桜堤中学校（向島中学校・鐘淵中学校統合）開校（4月） ・ 桜堤中学校難聴学級設置（4月）（向島中学校難聴学級を移設） ・ スクールカウンセラーの配置拡大（4月） （学級規模に応じた複数配置） ・ 放課後すみだ塾開始（4月） ・ 幼保小中一貫教育の全区展開開始（4月） （一貫教育推進員及び一貫教育巡回指導員の配置等） ・ ひきふね図書館閉館（4月） ・ 学習状況調査にあわせて教育心理検査を含む意識調査の実施（5月） ・ すみだ学力向上推進会議設置（6月） ・ 放課後子ども教室開始 押上小（9月） ・ 第 68 回国民体育大会デモンストレーションとしてのスポーツ行事ラジオ体操、フットサル開催（9月） ・ 第 68 回国民体育大会ハンドボール競技会開催（10月） 	
平成 26 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ すみだ幼保小中一貫教育フォーラム開催（2月） ・ 吾孺立花中学校（吾孺第一中学校・立花中学校統合）開校（4月） ・ 吾孺立花中学校 情緒障害等通級指導学級設置（4月）（吾孺第一中学校情緒障害等通級指導学級を移設） ・ 理科教育指導員の配置（4月） ・ すみだ SST ステップアップ講座開催（8月） ・ 全国高等学校総合体育大会バレーボール競技会開催（8月） ・ 小学校教科書採択（8月） ・ PTA 役員対象墨田区学習状況調査結果等報告会の実施（10月） 	

年	できごと	備考
平成 27 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 墨田区教育委員会いじめ問題専門委員会を設置（2月） ・ 通学路防犯設備整備事業開始（3月） ・ 墨田区子ども読書活動推進計画（第3次）策定（3月） ・ すみだ生涯学習センターの新貸出施設「ドーム」使用開始（4月） ・ 立吾げんきひろば（放課後子ども教室）をいきいきスクールに変更（7月） ・ 中学校教科書採択（8月） ・ 改正後の地教行法に基づく教育委員会体制に移行（10月） 	<p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律改正（平成27年4月1日施行）</p> <p>第1回墨田区総合教育会議開催（8月）</p>
平成 28 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 墨田区学力向上新3か年計画策定（3月） ・ 吾孺第二中学校に特別支援学級（知的障害固定）設置（4月） ・ 特別支援教室設置 3校（梅若・第二寺島・隅田小学校）（4月） ・ 放課後子ども教室開始 梅若小（4月） ・ 中学校で図書館の本が借りられる「学校予約」開始（5月） ・ 放課後子ども教室開始 第三寺島小（10月） 	<p>墨田区基本計画策定（6月）</p> <p>墨田区教育施策大綱策定（6月）</p>
平成 29 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ すみだ教育指針（墨田区教育振興基本計画）策定（3月） ・ 緑・立花・八広図書館の指定管理者による管理運営開始（4月） ・ 特別支援教室設置 12校（言問・小梅・第三吾孺・第四吾孺・第一寺島・第三寺島・曳舟・中川・東吾孺・押上・八広・立花吾孺の森小学校）（4月） ・ 放課後子ども教室開始 八広小（4月） ・ 小学校「特別の教科 道徳」教科書採択（8月） 	<p>計画期間（平成29年度～令和4年度）</p> <p>平成29年4月からスポーツ・文化に関することは、区長が管理し、執行することになった。</p>
平成 30 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 墨田区幼保小中一貫教育推進計画改定（2月） ・ 特別支援教室設置 10校（緑・外手・二葉・錦糸・中和・柳島・業平・両国・横川・菊川小学校）（4月） ・ 幼稚園新教育要領の全面实施（4月） ・ 小学校教科書採択（8月） ・ 中学校「特別の教科 道徳」教科書採択（8月） 	<p>計画期間（平成30年度～令和5年度）</p>
平成 31 年 令和元年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 放課後子ども教室開始 業平小（1月） ・ 墨田区子ども・若者計画策定（3月） 1 ・ 墨田区特別支援教育推進計画策定（3月） 2 ・ 区立学校における働き方改革推進プラン策定（3月） ・ 特別支援教室設置 4校（竪川・文花・桜堤・吾孺立花中学校）（4月） ・ 小学校・中学校教科書採択（8月） ・ 墨田区学力向上新3か年計画（第2次）策定（11月） 3 	<p>1計画期間（令和元年度～令和5年度）</p> <p>2計画期間（令和元年度～令和4年度）</p> <p>3計画期間（令和2年度～令和4年度）</p>
令和 2 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 墨田区子ども読書活動推進計画（第4次）策定（2月） 1 ・ 特別支援教室設置 6校（墨田・本所・両国・錦糸・吾孺第二・寺島中学校）（4月） ・ 小学校新学習指導要領の全面实施（4月） ・ 中学校教科書採択（8月） ・ 児童・生徒へ1人1台タブレット端末を配布（12月） 	<p>1計画期間（令和2年度～令和6年度）</p>
令和 3 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 墨田区学校施設長寿命化計画策定（3月） 1 ・ 立花吾孺の森小学校に特別支援学級（知的障害固定）設置（4月） ・ 中学校新学習指導要領の全面实施（4月） 	<p>1計画期間（令和3年度～令和12年度）</p>

令和4年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 墨田区教育施策大綱改定（3月） 1 ・ あわの自然学園閉園（3月） ・ 中和こどもひろば（放課後子ども教室）をいきいきスクールに変更（4月） ・ 墨田区学力向上新3か年計画（第3次）策定（10月） 2 	<p>1 計画期間（令和4年度 ~令和7年度）</p> <p>2 計画期間（令和5年度 ~令和7年度）</p>
令和5年	<ul style="list-style-type: none"> ・ すみだ教育指針（墨田区教育振興基本計画）改定（3月） 1 ・ 墨田区特別支援教育推進計画策定（3月） 2 ・ 曳舟幼稚園廃園（3月末） ・ 放課後子ども教室開始 隅田小（5月） 	<p>1 計画期間（令和5年度 ~令和8年度）</p> <p>2 計画期間（令和5年度 ~令和8年度）</p>